Canon
PUB. DIJ-256A
DVDビデオカメラ
iVIS DC200
使用説明書
CANON
iMAGE
GATEWAY

iVIS DC200を使って

楽しく作ろう!! 思い出ライブラリー

赤ちゃんが初めて歩いたときの感動。一等賞をもらったうれしそうな笑顔。
ドーンと響く夏の夜の大輪。心をくすぐる瞬間をDC200で収めましょう。

手ぶれ 手ぶれ補正でガードも恐くない 57

美しい映像も手ぶれしては台なし。
大切な映像をブレから守ります。

花火 スペシャルシーンを撮るも鮮やかに 43

夏の夜のワンシーン。夜空に咲く花火をキレイに表現します。

Ganbare~

burenai~?

Kireine~

海外 世界の電圧/周波数に対応でも安心 109

変換プラグがあればどこでも充電可能!
一部の国ではテレビで再生できます。

瞬間 クイックスタートを逃さない 33

初めて歩いた！1秒で撮影可能になり、感動を逃しません。

写真 一瞬を収めるも撮れる 80

写真で残したい瞬間に出会ったら、PHOTOボタンで一瞬を収めましょう。

テープとはココが違う！ DVDはスゴい

1 重ね撮りの心配がない

撮影した映像や写真はDVDディスクの空いているところに記録されますので、誤って重ね撮りして、大切な記録を消してしまうおそれがありません。

2 一覧画面から一発再生！

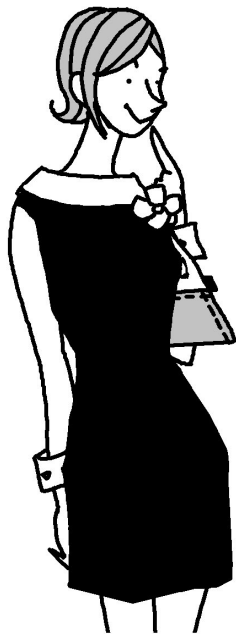
見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻し、早送りで頭出しする手間は一切不要。

一目でわかるインデックス画面からパッと選んで一発再生です。

3 DVDプレーヤーで映像をラクラク再生！

ディスクをファイナライズ（🕮72）すれば、DVDプレーヤーなどでカンタンに映像を再生できます。VIDEOモード（🕮4）で記録した場合、ほとんどのDVDプレーヤーで再生できます。

ディスクを選ぼう

撮影した動画や静止画はディスク(DVD)に記録されます。ディスクにはさまざまな種類がありますが、本機で使用できるのは直径8cmのDVD-R、DVD-R DL、DVD-RWの3種類です。ディスクによってできることが違いますので目的に合ったものを選びましょう。

DVD-R

本書での記載→ ディスク R

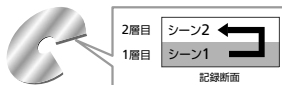
一度ディスクに記録すると、画像の編集や消去はできないが他のディスクより一般的に安価。ほとんどのDVD機器で再生可能。

DVD-R DL

ディスク R DL

DVD-Rの約1.8倍の容量(2.6GB)があり、長時間記録ができる。ただし、DVD-R DLに対応したDVD機器でないと再生できない。画像の編集や消去は不可。

2層目 シーン2
1層目 シーン1
記録断面

DVD-R DLの片面には二重の記録層があり、1層目→2層目の順で記録されます。このため、2層にまたがって記録された場合はシーンが2つに分かれ、再生時、層が切り替わるときに映像が1秒程度止まることがあります。

DVD-RW

ディスク RW

撮影した画像を消去したり、編集したりすることができる。また、ディスクを初期化*1すれば繰り返し使える。

DVD-RWの記録方式は2つある

DVD-RWには「VIDEOモード」と「VRモード」の2種類の記録方式があり、それぞれ以下のような特徴があります。未使用のDVD-RWを本機に入れると初期化画面が表示されますので、そのときにいずれかの記録方式を選んでください。なお、本書では「VIDEOモード」を 記録方式 VIDEO 、「VRモード」を 記録方式 VR と記載しています。

VIDEOモード:ファイナライズ*2すれば、ほとんどのDVD機器で再生可能で、互換性に優れています。本機を使っての画像編集(消去や分割など)はできません。

VRモード:ファイナライズすれば、VRモードに対応したDVD機器で再生できます。本機を使って画像編集(消去や分割など)をすることができます。

* DVD-RとDVD-R DLは「VIDEOモード」で記録されます。

ディスクによってできることが違います

ディスクの種類	DVD-R	DVD-R DL	DVD-RW	
			VIDEO	VR
本機で画像を編集（消去、分割など）できる 40 65	—	—	—	○
記録直後に画像を消去できる 34	—	—	○	○
ディスクを初期化して繰り返し使用できる 69	—	—	○	○
ディスクに名前を付けられる 71	○	○	○	○
ファイナライズして他のDVD機器で再生できる 72	○	○	○	○*3
ファイナライズ後に追加記録できる 75	—	—	○*4	○
ディスクの片面に長時間記録できる 36	—	○	—	—
静止画をつなげてフォトムービーにできる 91	○	○	○	○

おすすめのディスク

日立マクセル製HGタイプについて動作検証しています。DVD-R DLについてはキヤノン製品以外に三菱化学メディア製のディスクについて動作検証しています。互換性などについての情報は各ディスクメーカーにお問い合わせください。なお、他機で記録・初期化・ファイナライズしたディスクを本機で再生・記録などを行うと、記録データが破損するおそれがあります。

*1 初期化：ディスクに記録した動画や静止画をすべて消去して記録容量をもとに戻し、再度書き込みできる状態にすることをいいます。DVD-RWは初期化できますが、DVD-RとDVD-R DLはできません。

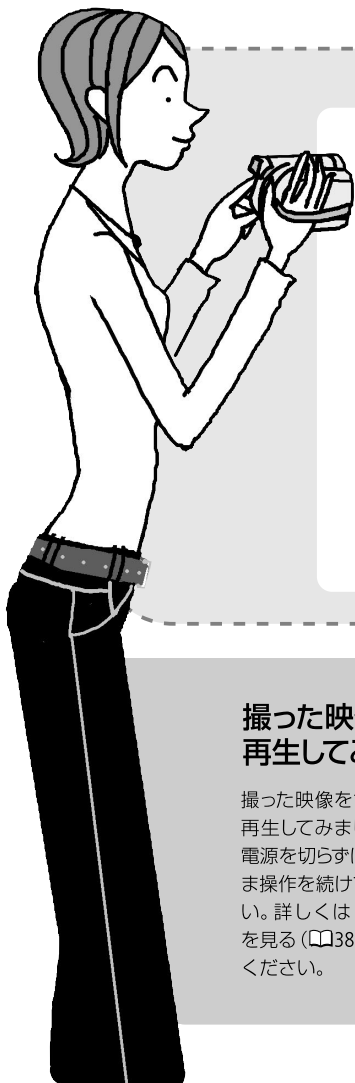
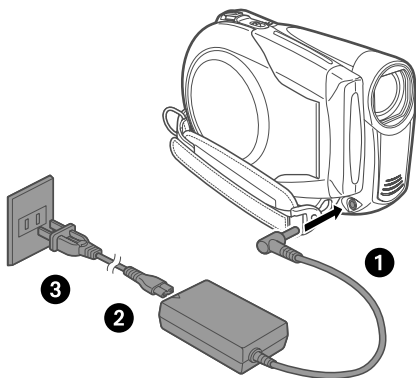
*2 ファイナライズ:映像を記録したディスクを他のDVD機器で再生できるようにする処理のことをいいます。DVD-R DLには片面に記録層が2つあるため、空き容量にもよりますがファイナライズに時間がかかることがあります。

*3 機器によっては再生できないことがあります。　*4 ファイナライズを解除する操作が必要です。

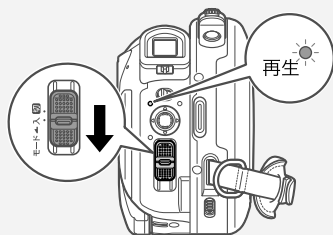
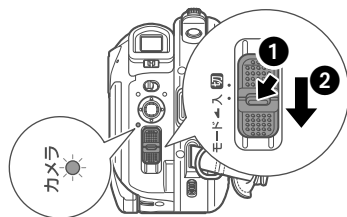
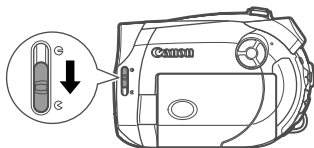
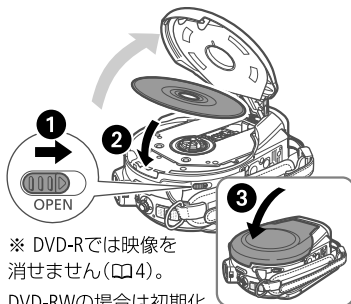
さっそく撮ってみよう

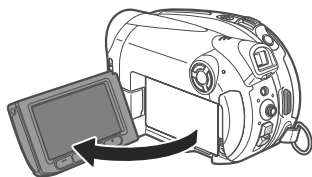
箱から出して、今すぐ撮影してみたい——という方のためにひと通りの操作を説明します。むずかしい操作は一切ありません。とにかく気楽に撮ってみましょう。イラスト通りに操作すればカンタンに撮影できます。

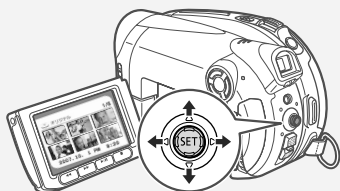
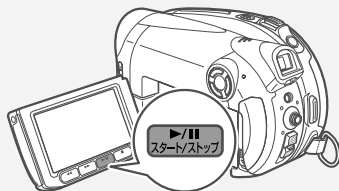
1 コンセントにつなぐ

❶ ❷ ❸

撮った映像を再生してみよう

撮った映像をさっそく再生してみましょう。電源を切らずにそのまま操作を続けてください。詳しくは「ビデオを見る」(📖38) をご覧ください。

❶「再生」にする

2 「カメラ」にする

3 レンズカバーを開く

4 ディスクを入れる

※ DVD-Rでは映像を消せません（🕮4）。
DVD-RWの場合は初期化してください（🕮26）。

5 押す ▶撮影開始

もう一度押すと撮影終了 ▶

❷ 見たいシーンを選ぶ

❸ 押す ▶再生開始

● 再生を終えるときは ■プレイリスト を押す。

CONTENTS
もくじ

iVIS DC200を使って
楽しく作ろう！！
思い出ライブラリー.......2

DVD Selection
ディスクを選ぼう............4

Let's get to it right away!
さっそく撮ってみよう 6

そろっていますか？ 12

各部のなまえ 13

画面の見かた 15

これだけはお守りください....17

Chapter 1
ビデオ

1 とにかく撮る（基本編）

準備

1 バッテリーを充電する.................22
2 ディスクを入れる..........................25
3 付属品を準備する 28
4 液晶画面を調整する.................29
位置を調節する
画面の明るさを調節する
5 時計を合わせる...........................30

撮る

ビデオを撮る 31
AUTOモードとPモード《モードスイッチ》...33
撮影チャンスを逃さない《クイックスタート》.................................33
いま撮ったシーンを確認する 34
いま撮ったシーンを消す.................34
拡大して撮る《ズーム》 35
画質を選ぶ《録画モード》.......................36
撮影する画面の比率を選ぶ《16:9/4:3》...37

2 とにかく見る（基本編）

見る

ビデオを見る 38
早送り、早戻し、さまざまな再生 39
シーンを消す....................................40
画面の表示を切り換える《データコード》.....41
撮った映像をテレビで見る 42

3 こだわって撮る（応用編）

場面に合わせて撮る《スペシャルシーンモード（SCN）》......43
動きの速いものを撮る《シャッタースピード》......45
セルフタイマーを使う......47
ピントを合わせる......48
明るさを調整する《露出》......49
色合いを調整する《ホワイトバランス》......50
好みの画質にする《画質効果》......52
場面の切り換えと特殊効果《デジタルエフェクト》......53
買ったときの設定を変える......55
メニューの紹介......56
FUNC. メニューの紹介......63

4 編集する

プレイリストを作成する......65
シーンを分割する......67
ディスクの画像を守る《ディスクプロテクト》...68
ディスクを初期化する《ディスク初期化》......69

5 DVDプレーヤーなどで見る

ディスクに名前をつける《ディスクタイトル》...71
ほかのビデオ機器で見るための処理をする《ファイナライズ》......72
DVDプレーヤーやパソコンで再生する....74
処理をした後に追加記録する《ファイナライズ解除》...75

6 ダビングする

ほかのビデオ機器へ録画する......77

Chapter 2
写真

1 とにかく撮る（基本編）

撮る

写真を撮る......80
いま撮った写真を消す......82
画質や静止画サイズを選ぶ......82

2 とにかく見る（基本編）

見る

写真を見る......84
順番に再生する《スライドショー》......85
インデックス画面から選ぶ......85
写真を見ながら拡大する《再生ズーム》......86
写真を消す《画像消去》......86

3 こだわって撮る（応用編）

写真の明るさを図で確認する《ヒストグラム》...88
知ってて便利な使いかた......89

4 編集する

写真をつなげてムービーにする《フォトムービー》......91

Chapter 3
ふろく

故障かな？....................................94
メッセージが出たら？....................100
取り扱い上のご注意.......................103
日常のお手入れ..............................108
海外で使う......................................109
アクセサリー紹介..........................111
保証書とアフターサービス..........113
主な仕様..114
さくいん..116

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C., (250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA)から取得可能です。

マークや記号、イラストはこう読む
この本の読みかた

スイッチの位置やディスクの種類を示すマーク

電源 カメラ

電源スイッチを切り換えるたびに、カメラモードランプまたは再生モードランプが点灯。この場合は「カメラ」にする。ほかに、「再生」、切 がある。

動画・静止画 動画／静止画

動画/静止画切り換えスイッチの位置。この場合は動画 または 静止画 の位置に合わせる。

モード P

モードスイッチの位置。この場合はPに合わせる。他にAUTOがある。

ディスク R／RW

使用できるディスク。この場合はDVD-RまたはDVD-RWを入れる。
他にDVD-R DLがある。

記録方式 VIDEO／VR

使用できる記録方式。はじめてDVD-RWを入れたときや初期化するときに、記録方式をVIDEOまたはVRから選ぶ。

本文中の表記

10 （ 10）	参照ページを示す。
画面	「液晶画面」または「ファインダーの画面」のこと。
画像	「動画」または「静止画」のこと。両方を指す場合もある。

1 とにかく撮る　2 とにかく見る　3 こだわって撮る　4 編集する　5 DVDプレーヤーなどで見る　6 ダビングする

ほかのビデオ機器で見るための処理をする

ファイナライズ

ディスクの画像を、DVDプレーヤーなどの他の機器で再生できるようにする処理（ファイナライズ）を行います。静止画はフォトムービーにしてからファイナライズすると、DVDプレーヤーなどで再生できます（ 91）

ディスク R/R DL/RW　記録方式 VIDEO/VR　電源 再生　動画・静止画

1 コンパクトパワーアダプターにつなぐ

バッテリーではファイナライズできないのでご注意ください。

FUNC.

2 押す

VRモードのとき
ジョイスティックで （メニュー）を選ぶ→ を押す。

3 ファイナライズ実行を選ぶ

❶「ディスク実行」→「ファイナライズ実行」を選ぶ。
❷ を押す。
❸「はい」を選ぶ→ を押す。
● ファイナライズに必要な時間が出る。
● ファイナライズ後は、画面に Ⓕ が出る。

FUNC.

4 押す

72

見るための処理をする

ご注意

● 必ず　温で行ってください。高温下で行い、中断した場合は電源を取りはずし、本機を　ましてから操作し直してください。
● 本機を　机などの安定したところに置いて行ってください。ファイナライズを実行中に、机　に置く、AVケーブルを抜くなどの衝撃を与えると、データが破損する恐れがあります。
● ファイ　ライズ中は、コンパクトパワーアダプターを抜かないでください。正しくファイ　ライズされず、ディスクのデータが破損します。
● ファイ　ライズを行うと、ディスクの種類や記録モードによって、追加の記録やディスク初期化に制限が出ます。
● 本機で記録したディスク以外はファイナライズしないでください。

メモ

● ファイナライズ後にできる操作は次のとおりです。

	追加の記録	編集	ディスク初期化	ファイナライズ解除
DVD- (VIDEOモード)	–	–	–	–
DVD- DL (VIDEOモード)	–	–	–	–
DVD- W (VIDEOモード)	○*	–	○	○
DVD- W (VRモード)	○	○	○	–

*ファイナライズ解除が必要。

● ファイ　ライズにかかる時間は、ディスクの空き容量や記録の状態によって異なります。

ビデオ

73

画面に表示されるマーク

動画を撮影する。
動画を再生する。
静止画を記録する。
静止画を再生する。

コラムのマーク

守ってほしいこと。

知っておいてほしいこと。

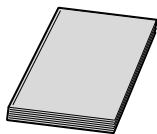
操作するときのポイントやお役立ち情報。

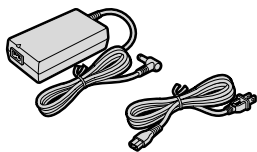
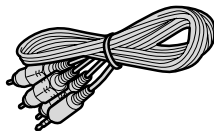
＊画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

商標について

● DVD R/RW は、DVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標です。
● ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
● その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

そろっていますか?

本体以外の付属品がそろっているかチェックしましょう。

iVIS DC200使用説明書

バッテリーパック BP-208

コンパクトパワーアダプター
CA-570と電源コード

ステレオビデオケーブル
STV-250N

お使いいただくまえに知っておいてください

かならず「ためし撮り」しましょう
事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません
ビデオカメラなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう
録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

モザイク状のノイズについて
LP(長時間モード)での録画では、ディスクの特性や使用環境に影響され、再生時画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはXP(高画質モード)やSP(標準モード)をお使いください。

液晶画面やファインダーについて
液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部のなまえ

本文中に出てくる名称です。■ 内の数字は参照ページです。

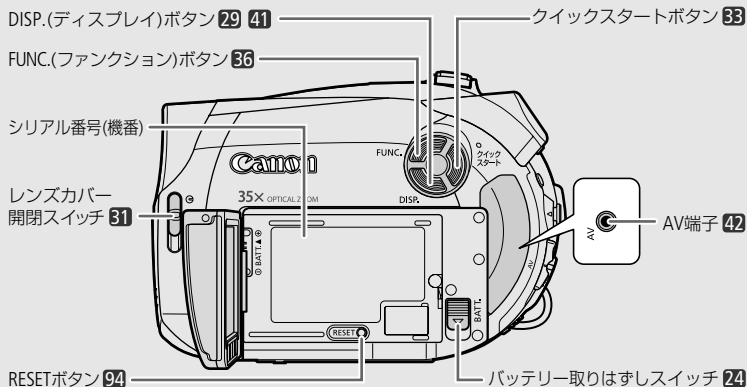
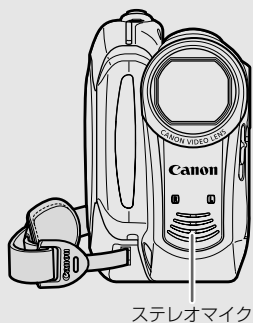
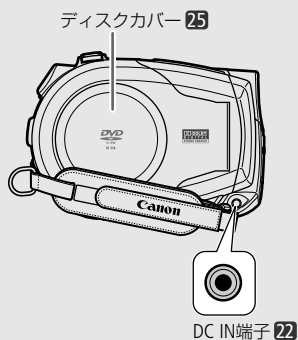
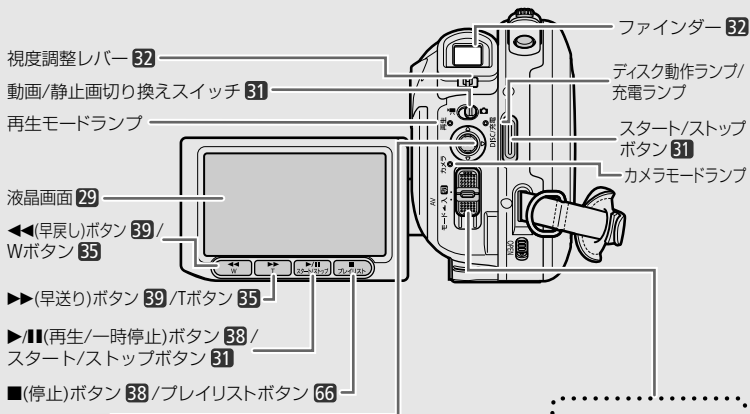
■ 左面

■ 正面

■ 右面

各部のなまえ

■ 後面

ファインダー 32
視度調整レバー 32
動画/静止画切り換えスイッチ 31
ディスク動作ランプ/充電ランプ
再生モードランプ
スタート/ストップボタン 31
カメラモードランプ
液晶画面 29
◀◀(早戻し)ボタン 39/Wボタン 35
▶▶(早送り)ボタン 39/Tボタン 35
▶/❚❚(再生/一時停止)ボタン 38/スタート/ストップボタン 31
■(停止)ボタン 38/プレイリストボタン 66

ジョイスティック 26 48

ジョイスティックの(SET)を押すと右のような操作案内が出ます。撮影状況によって表示が変わります。

フォーカス
次へ

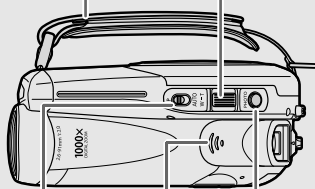
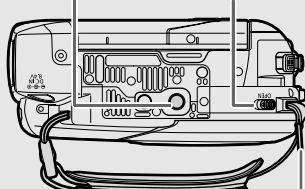
電源スイッチ 25

❶ロックボタンを押しながら「入」にする

ロックボタン

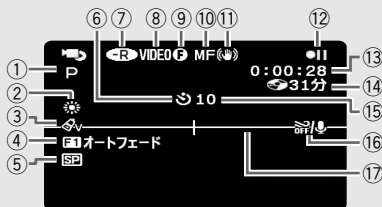
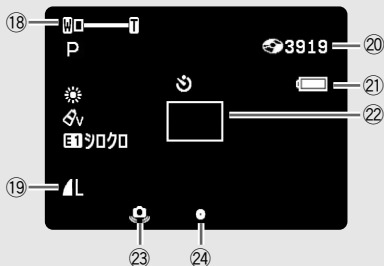
❷下に押す
押すたびに「カメラ」と「再生」が切り換わる。

■ 上面

■ 底面

画面の見かた

撮影中や再生中に表示される情報です。■ 内の数字は参照ページです。

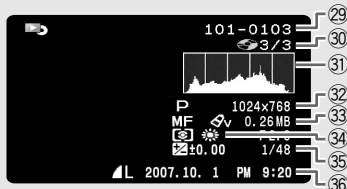
■撮影のときの画面

動画のとき

静止画のとき

① 撮影モード 43
② ホワイトバランス 50
③ 画質効果 52
④ デジタルエフェクト 53
⑤ 録画モード 36
⑥ セルフタイマー 47
⑦ ディスクの種類 4
⑧ 記録方式 4
⑨ ファイナライズ 72
⑩ マニュアルフォーカス 48
⑪ 手ぶれ補正 57
⑫ 撮影状況 16
⑬ 撮影時間(時：分：秒)
⑭ 撮影可能時間 16
⑮ お知らせタイマー 16
⑯ ウィンドカット 57
⑰ マーカー 60
⑱ ズーム 35 、露出 49
⑲ 静止画画質/サイズ 82
⑳ 静止画の記録可能枚数 83
㉑ バッテリー残量の目安 16
㉒ AF枠 57
㉓ 手ぶれ警告 57
㉔ 静止画記録でのピント、露出調整 80

画面の見かた

■再生のときの画面

動画のとき

静止画のとき

㉕ 再生状況
㉖ 再生時間(時：分：秒)
㉗ 再生シーン番号
㉘ データコード 41
㉙ 画像番号 61
㉚ 表示枚数/全枚数
㉛ ヒストグラム 88
㉜ 撮影モード 43 /静止画サイズ 82
㉝ フォーカス 48 /画質効果 52 / データ量
㉞ ホワイトバランス 50
㉟ 露出 49 /シャッタースピード 45
㊱ 静止画画質/サイズ 82 /日時 30

⑫ 撮影状況/㉕ 再生状況

●：撮影(録画)　●❚❚：撮影一時停止　▶：再生　❚❚：再生一時停止

▶▶：早送り　◀◀：早戻し　◀❚/❚▶：スロー再生

⑭ 撮影可能時間

ディスクに空きがなくなると、「 END」が点灯し、停止します。

⑮お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。一つの場面が短いと落ち着きのない画面になりますので、お知らせタイマーを目安にしながら撮影します。

⑳静止画の記録可能枚数

枚数の緑色表示は残り6枚以上、黄色表示は残り1～5枚、赤色表示は0枚を示します（ただし、再生時はすべて緑色表示）。記録可能枚数は記録時の状況により異なることがあります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることがあります。なお、静止画の記録中は の左に「▶」が表示されます。

㉑バッテリー残量の目安

が赤く点滅したら、充電したバッテリーと交換してください。消耗したバッテリーを使用すると、電源が入らなかったり、 が出ずに電源が切れたりすることがあります。なお、本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

これだけはお守りください

本機を正しく安全にお使いいただくため、ここに書いてあることをお守りください。

⚠警告　火災、感電、破裂などにより、死亡や重傷を負うおそれがあるもの
⚠注意　傷害を負うおそれや、物的損害を受けるおそれがあるもの

■ こんなときは ⚠警告

煙が出ている、へんな臭いがする、本機を落とした、外装をこわした、内部に水や異物が入った。

プラグをコンセントから抜く

⇨ 電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーもはずす。

火災、感電の原因。キヤノンサービスセンターまたは購入販売店に修理を依頼する。

禁止

バッテリーから液もれした。
⇨ 使用しない。

皮膚の障害、失明、発火の原因。液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。万一、目などに入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

接触禁止

雷が鳴り出した。
⇨ 電源プラグには触れない。

感電の原因。

■ お使いになるときは ⚠警告

禁止

強い衝撃や振動を与えない。

破損して火災、やけど、けがの原因。特に、液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

禁止

機器内部に金属類を入れない。端子部に金属類をショートさせない。ディスク挿入口から金属類や燃えやすいものを差し込まない。

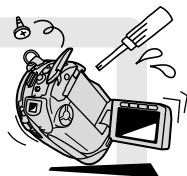
火災、感電、けがの原因。

つづく▶

これだけはお守りください

強制

指定された機器を使う。
火災、感電、けがの原因。

禁止

回転中のディスクには手を触れない。
けがの原因。

水ぬれ禁止

ぬらさない。
火災、感電、やけどの原因。
雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、とくに注意する。

禁止

電源コードを傷つけない。
加工しない。無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。熱機具に近付けたり、加熱したりしない。必ずプラグを持って抜く。
芯線が露出したり、断線すると火災、感電の原因。

禁止

運転中に使用しない。
交通事故の原因。

分解禁止

分解や改造をしない。
発熱、火災、感電、けがの原因。

強制

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
火災、感電の原因。

禁止

充電中は長時間触れない。
低温やけどの原因。

禁止

海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。
火災、感電、けがの原因。

禁止

絶対に、バッテリーを加熱や火中投入しない。
破裂により、やけど、けがの原因。

強制

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。
けが、交通事故の原因。

⚠注意

強制

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与えるおそれ。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因。

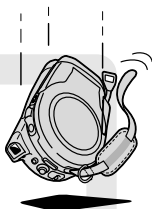
強制

コード類は、つまづかないように配置する。
足を引っ掛けて、転倒したり製品が落ちたりして、けがの原因。

強制

バッテリーを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。
落ちると、けがの原因。

強制

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは確実に取りつける。
脱落すると、けがの原因。

■ 使用・保管するとき ⚠警告

風呂場、シャワー室での使用禁止

風呂場などの湿度の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所で使用、保管しない。
内部に水などが入ると、火災、感電、やけどの原因。

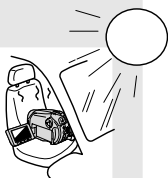
強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
火災の原因。

禁止

バッテリーの端子部に金属製のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。
「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因。

禁止

直射日光下やストーブ、照明器具のそばなど、60℃以上の高温の場所や炎天下の密閉された車の中に置かない。
発熱や破裂により、火災、やけど、けがの原因。

禁止

不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因。

禁止

ひび割れ、変形や補修したディスク、特殊形状のディスクは使わない。
けがの原因。

つづく▶

これだけはお守りください

⚠ 注意

強制

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災の原因。

禁止

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。

内部に熱がこもり、火災の原因。

■ お子様がそばにいるとき ⚠ 警告

強制

乳幼児の手の届かないところに置く。

感電、けがの原因。

⚠ 注意

指をはさまれないよう注意

ディスクカバーを閉めるときに、指をはさまれないようにする。

けがの原因。

Recording Movies

1 とにかく撮る（基本編） 22

すべて「おまかせ」でカンタンに撮りたいときにご覧ください。「準備→撮る」の順で説明しています。

2 とにかく見る（基本編） 38

撮った映像を本機やテレビで見たり、消したいとき。

3 こだわって撮る（応用編） 43

「もっと明るく撮りたい」、「ピントを合わせたい」など...こだわって撮りたいときなどに見てください。

4 編集する 65

撮った映像を分割したり、順番を移動したいときなどに見てください。

5 DVDプレーヤーなどで見る 71

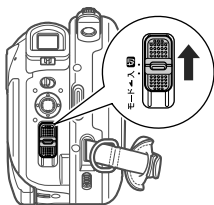
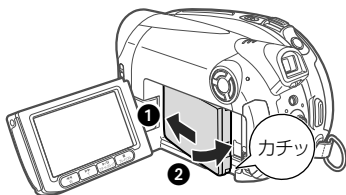
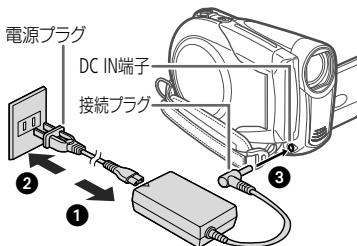
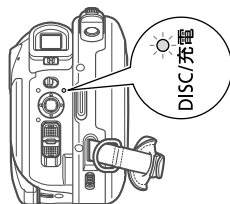
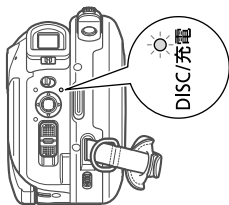
DVDプレーヤーなどで映像を再生するとき。

6 ダビングする 77

ほかのビデオ機器へダビングしたいときに見てください。

バッテリーを充電する

バッテリーを本体に取りつけ、家庭用コンセントから充電します。

1 電源を切る

2 バッテリーを取りつける

3 コンセントにつなぐ

4 充電ランプが点滅

5 点滅→点灯で充電おわり

- 接続プラグをDC IN端子から抜き、続いて電源プラグをコンセントから抜く。

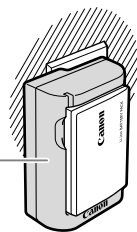
ご注意

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源スイッチを 切 にし、液晶画面の表示が完全に消えていることを確認してください。ディスクのデータが破損するおそれがあります。
- コンパクトパワーアダプターを使用中に音がすることがありますが、故障ではありません。
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上の場所では充電できません。

メモ

- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- 充電ランプの光りかたで充電状態がわかります。
  点灯 →充電完了
  点滅（約2回/秒）→半分以上の充電　点滅（約1回/秒）→半分以下の充電
- 充電時間は約160分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャーCG-300を使うと約105分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。

バッテリーチャージャーCG-300

つづく

バッテリーを充電する

バッテリーの使用時間は？

バッテリーをフル充電したときの使用時間はつぎのとおりです。なお、低温下で使用したときは、使用時間は短くなります。

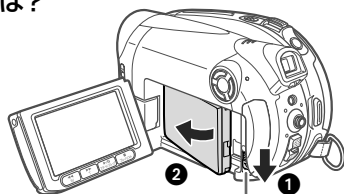
録画モード			連続撮影時間	実撮影時間*	再生時間
XP	ファインダー使用時		約115分	約60分	約140分
	液晶画面使用時	標準	約110分	約60分	
		明るい	約105分	約60分	
SP	ファインダー使用時		約135分	約65分	約165分
	液晶画面使用時	標準	約125分	約65分	
		明るい	約120分	約60分	
LP	ファインダー使用時		約145分	約70分	約175分
	液晶画面使用時	標準	約140分	約65分	
		明るい	約130分	約65分	

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。

バッテリーは予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

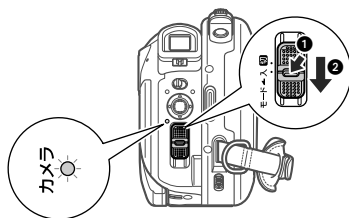
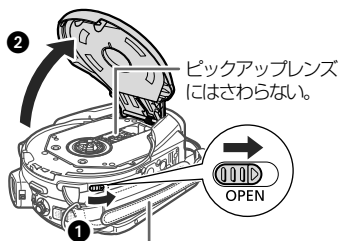
バッテリーを取りはずすときは?

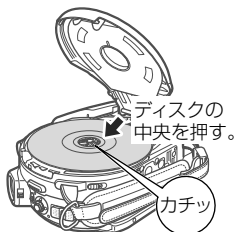
バッテリー取りはずしスイッチを下に押して取りはずしてください。

バッテリー取りはずしスイッチ

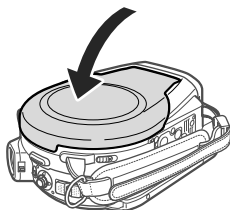
ディスクを入れる

ディスクは DVD R または DVD RW の付いた8cmのDVD-R、DVD-R DL、DVD-RWをお使いください。また「おすすめのディスク」（📖 5）をご覧ください。

ディスクの記録面に汚れや指紋が付いている場合は、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで必ず拭きとってください。

1 「カメラ」にする

2 カバーを止まるまで開く

- グリップベルトは、引っ掛からないように本機の下にずらす。

3 ディスクを入れる

- 片面ディスクはラベル面を外側にして入れる。ディスクの記録面はさわらない。

4 カバーを閉じる

- ディスクが正しく入っていない状態で、無理に閉じない。

つづく

ディスクを入れる

ディスクを入れた後、ディスクの読み込みに多少時間がかかります。読み込み中は ◎ が回転し、動画再生モード時は「ディスク認識中です」が出ます。読み込みが終わってから、操作を行ってください。

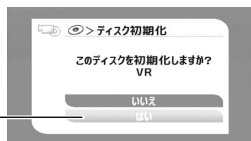
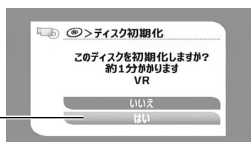
DVD-RWのときは初期化が必要です！

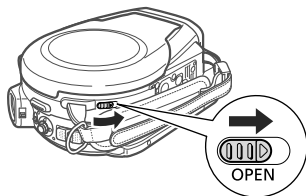
新しいDVD-RWで撮るときは、はじめに初期化しましょう。動画/静止画切り換えスイッチを 🎥 にしているときに、ディスクを入れると初期化する画面が自動的に出ます。DVD-RやDVD-R DLのときは●❚❚(撮影一時停止中)が出たら、そのまま撮影を始められます(📖 31)。

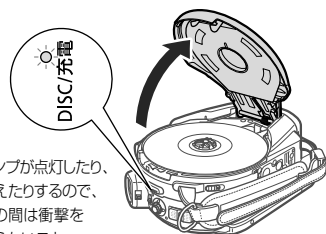
1. 記録方式を選ぶ

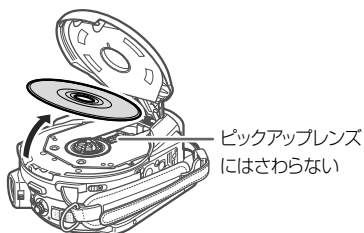
「VIDEO」または「VR」を選ぶ→ SET を押す。
- 記録方式については、「ディスクを選ぼう」(📖 4)をご覧ください。

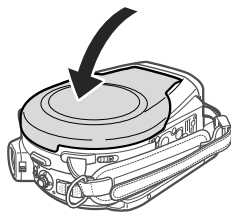
2. 初期化する

「はい」を選ぶ→ SET を押す。

「はい」を選ぶ→ SET を押す。
- ディスク初期化が始まる。
- ●❚❚(撮影一時停止中)が出たら、撮影準備完了。

■ ディスクを取り出す

1 OPENスイッチを押す

- グリップベルトは、引っ掛からないように本機の下にずらす。

2 カバーが開くまで待つ

- OPENスイッチを押した後、開くまで時間がかかることがある。

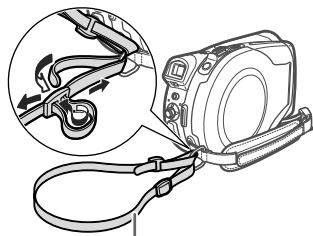
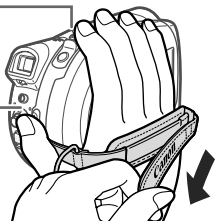
3 ディスクをはずす

- ディスクの端に指を引っ掛けてはずす。ディスクの記録面にはさわらない。

4 カバーを閉じる

ご注意

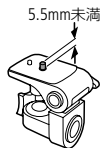
記録後にOPENスイッチを押したとき、重要なデータの書き込みが行われます。ディスク動作ランプが点灯している間は、机に置くなどの振動や衝撃を与えないでください。

付属品を準備する

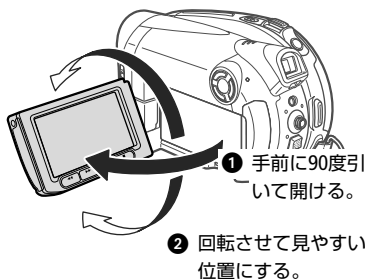
グリップベルトの調整をしましょう。

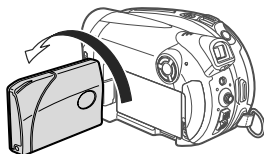
■ グリップベルトや別売のストラップを調整する

ポイント

三脚を使うときは？

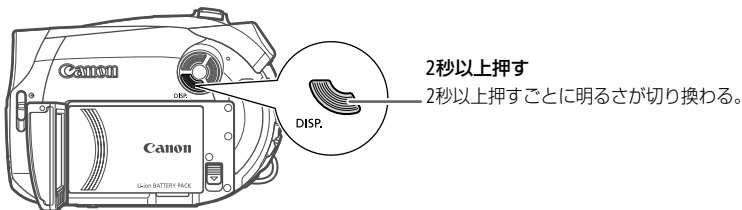
- ファインダーを太陽に向けないでください。
- 必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。本体を破損することがあります。

液晶画面を調整する

液晶画面の位置や明るさを調整します。

■ 位置を調節する

液晶画面を相手に見せて撮る

液晶画面を相手に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。レンズと同じ方向を向くように回転させます。

■ 画面の明るさを調節する

画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。

2秒以上押す
2秒以上押すごとに明るさが切り換わる。

- 液晶画面の明るさを調整しても、ディスクに記録される映像の明るさには影響しません。
- 液晶画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。

ビデオ

時計を合わせる

現在の地域（エリア）を選んでから、時計を合わせます。

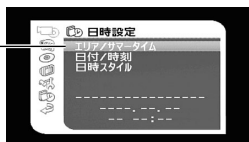
1. 「カメラ」にする

2. 押す

3. メニューを選ぶ

（メニュー）を選ぶ
→SETを押す。

4. 現在の地域を選ぶ

1. 「日時設定」を選ぶ→SETを押す。
2. 「エリア/サマータイム」を選ぶ→SETを押す。
3. 現在の地域を選ぶ→SETを押す。

5. 日付、時刻を選ぶ

1. 上下に押して「日付/時刻」を選ぶ→SETを押す。
2. 上下に押して数字を選ぶ→SETを押す。

- ジョイスティックを左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

6. 押す

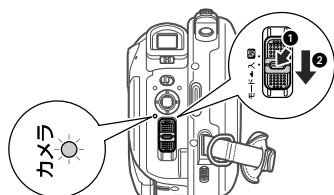
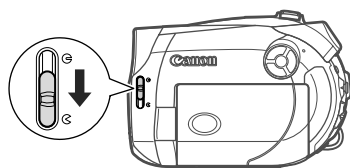
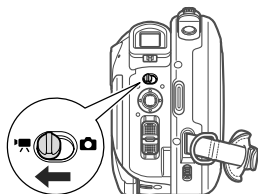
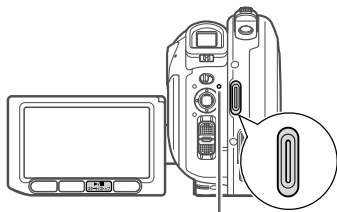
ご注意

- 本機を約3ヶ月使わないと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して、日付/時刻の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（107）。
- メニューの「日時スタイル」で、日付や時刻を表示する順序を変更できます（62）。

ビデオを撮る

基本的な動画の撮りかたです。

大切な画像を撮るときは、必ず試し撮りをし、正しく再生されることを確認してください（📖 38）。なお、DVD-Rで試し撮りをすると映像を消すことはできませんので、DVD-RWをお使いになるようおすすめします。

1 「カメラ」にする

2 レンズカバーを開く

3 🎥にする

4 押す ▶ 撮影開始！

ディスク動作ランプ

- [スタート/ストップ] を押しても撮影を始められる。
- もう一度押すと、撮影一時停止となる。

撮影を終えるときは

1. ディスク動作ランプが消えていることを確認
2. 電源スイッチを 切 にする
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる
4. ディスクを取り出す（📖 27）

ビデオ

ビデオを撮る

ご注意

- ビデオカメラを安定させて撮影しましょう。すばやくズームしたり、ビデオカメラを揺らしたり、左右に振ったりして撮影した映像を再生すると、乗り物酔いのような症状が出ることがあります。このような症状が出た場合はすぐに再生を中止し、健康のため、適度な休憩を取ってください。
- ディスク動作ランプが点滅しているときは、撮影した映像をディスクに書き込んでいます。このときは、つぎのことを必ず守ってください。映像データが破損するおそれがあります。
  - ・本機に振動や衝撃を与えない　・ディスクカバーを開けない
  - ・電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを操作しない
  - ・バッテリーやコンパクトパワーアダプターを取りはずさない

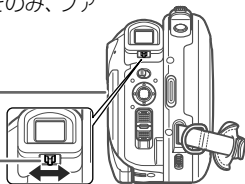
メモ

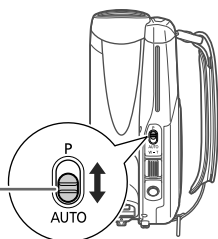
- バッテリーを使っているときは、約5分間何も操作しないと節電のため電源が切れます（📖61）。このときは電源スイッチを下に押すか、一度切にしてから電源を入れ直してください。
- 打ち上げ花火など大きな音の近くで撮影すると、音がひずんだり、小さく録音されることがありますが故障ではありません。

ポイント

周囲が明るくて画面が見づらいときは

液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、ファインダーを使います。液晶画面を閉じると、自動的にファインダーに映像が表示されます。
なお、液晶画面を相手に見せて撮影しているときのみ、ファインダーと液晶画面を同時に使用できます。

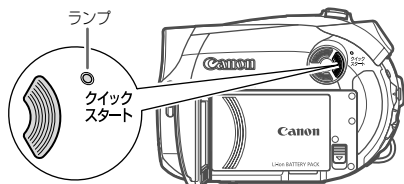
1. 液晶画面を垂直にしてから閉じる
2. ハッキリ見えるようにレバーを動かす

AUTOモードとPモード（モードスイッチ）

ここでの操作は「すべての調整をカメラまかせで簡単に撮影するAUTOモード」をもとに説明しています。撮影シーンに合わせて個別に調整したいときなどは、モードスイッチを「Pモード」に合わせます（📖 43）。

■ 撮影チャンスを逃さない（クイックスタート） 動画・静止画

撮影一時停止のとき電源を切る代わりにクイックスタートモードにしておくと約1秒で撮影可能状態に戻ります。バッテリーの消耗を撮影一時停止中の1/2におさえ、撮影チャンスにもすばやく対応します。

クイックスタートモードにする

撮影一時停止のときクイックスタートボタンをしっかりと押す→ ランプが点灯

- 準備中はランプが点滅する。

クイックスタートモードを解除する

再度クイックスタートボタンを押す→ ランプが消える

- クイックスタートモードを解除すると、ピントや露出の調整をしていた場合、自動調整に戻ります。ズームはW側に戻ります。
- クイックスタートモードの状態で10分経過すると電源が切れます。電源が切れるまでの時間はメニューの「 スタンバイ」で選択できます（📖 61）。なお、「パワーセーブ」（📖 61）はクイックスタートモード時には無効となります。
- 電源が切れた場合は、電源スイッチを下に押すか、一度 切 にしてから電源を入れ直してください。

つづく

ビデオ

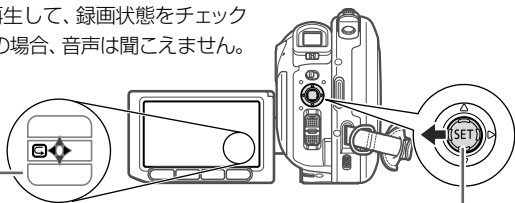
ビデオを撮る

- クイックスタートモードの状態でディスクカバーを開いたり、動画/静止画切り換えスイッチを切り換えたり、電源スイッチを下に押したりするとクイックスタートモードが解除されます。

■ いま撮ったシーンを確認する

動画・静止画

直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。この場合、音声は聞こえません。

❶ ジョイスティックの SET を押す。がある操作案内が出ないときは、下に押す。

❷ ジョイスティックを左に押す

■ いま撮ったシーンを消す

ディスク RW　記録方式 VIDEO／VR　動画・静止画

1. SET を押す
   - 操作案内が出る。

2. シーンを消す
   ❶ 左に押す。
   ❷ 🗑→「はい」を選ぶ→ SET を押す。

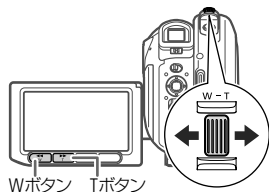
メモ

- 消去中は一切の操作をしないでください。
- モードスイッチを切り換えたり、電源を切ったり、ディスクを取り出したりした場合は、直前のシーンは消せません。

■ 拡大して撮る（ズーム） 動画・静止画

ズームレバーをT側（望遠）に押すと35倍まで拡大して撮影できます（光学ズーム）。W側（広角）に押すと、もとの大きさに戻ります。デジタルズームを使うと、さらに1000倍まで拡大することができます*（📖 57）。

* デジタルズームは静止画撮影時には使えません。

W側（広角） T側（望遠）

Wボタン Tボタン

メモ

- ズーム撮影をするときは被写体から1m以上離れてください。
- ズームレバーをW側に押して最も広角にすると約1cmまで近づいて撮影できます。
- ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします（可変速）。メニューでズームスピードを一定にすることもできます（📖 56）。スピードは1（遅い）～3（速い）から選びます。
- 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、ズームスピードを「可変速」に設定したときのみ）。

つづく ▶

ビデオを撮る

■ 画質を選ぶ（録画モード）

録画モードにはXP（高画質モード）、SP（標準モード）、LP（長時間モード）の3種類があります。

1. 押す

2. 録画モードを選ぶ
   ❶ 上下に押して SP を選ぶ。
   ❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

FUNC.

3. 押す

- 選択したモードやディスクの種類によって、録画時間が異なります。

	XP（高画質モード）	SP（標準モード）	LP（長時間モード）
DVD-R / DVD-RW	約20分	約30分	約60分
DVD-R DL	約36分	約54分	約108分

表の数字はディスクの片面に録画可能な時間です。

- LP（長時間モード）を選択すると、ディスクの特性や撮影条件の影響を受けやすくなり、このため再生時にモザイク上のノイズが発生したり、音声がとぎれたりすることがあります。大切な撮影にはXP（高画質モード）やSP（標準モード）をお使いください。
- 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、録画時間は撮影環境によって変化します。

■ 撮影する画面の比率を選ぶ（16:9/4:3） 動画・静止画

撮影したい画面の比率を選べます。ワイド撮影（16:9）か通常撮影（4:3）かのいずれかを選んでください。

例　撮影サイズを通常撮影（4:3）に設定する

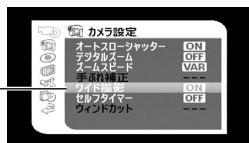
1. 押す

2. 撮影サイズを選ぶ

❶ （メニュー）を選ぶ → SET を押す。

❷「カメラ設定」→「ワイド撮影」を選ぶ→ SET を押す。

❸「切」を選ぶ→ SET を押す。

● ワイド撮影（16:9）のときは「入」を選ぶ

3. 押す

メモ

● 本機をビデオID-1方式対応のテレビに接続して、「ワイド撮影」で撮影された映像を再生すると、テレビは自動的にワイド画面（16:9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側でワイド画面に切り換えてください。

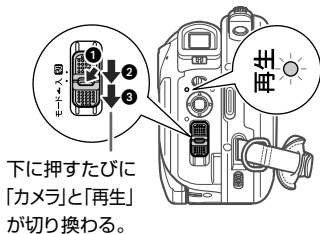
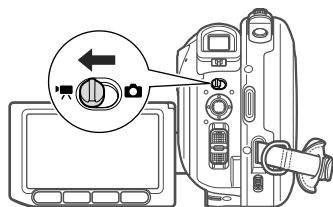
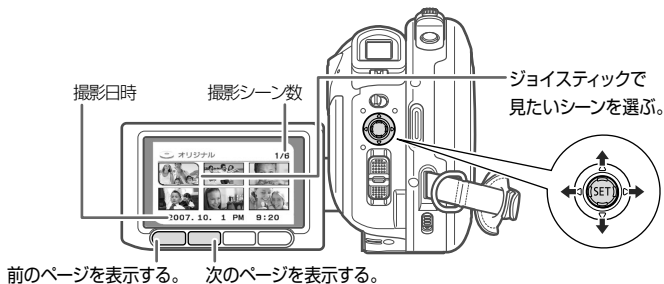
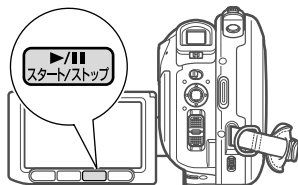
● 接続するテレビが通常のテレビ（4:3）の場合は、メニューで「テレビタイプ」を設定してください（📖 61）。

● ワイド画面設定時に、メニューで「手ぶれ補正」を「切」にすると撮影範囲が広くなります。

ビデオを見る

撮った映像を液晶画面で見ます。

1 「再生」にする

2 🎥にする

3 見たいシーンを選ぶ

4 押す ▶ 再生開始！

- もう一度押すと、再生一時停止となる。
- 選んだシーンの再生が終わると、つぎのシーンが再生される。
- 再生を終えるときは ■ プレイリスト を押す。

音の大きさを変える

1. ジョイスティックの SET を押す。
2. 操作案内が出たら、上下に押して調整する。

撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声がとぎれたりすることがあります。

ポイント

早送り、早戻し、さまざまな再生

以下の操作中は音声が聞こえません。▶/II スタート/ストップ を押すとふつうの再生に戻ります。

早送り*	再生中に ▶▶ T	ボタンを押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約25倍に切り換わる。
早戻し*	再生中に ◀◀ W	
スロー再生*	一時停止中に ▶▶ T	ボタンを押すたびに再生速度が約1/16倍→約1/8倍→約1/4倍に切り換わる。
スロー逆再生*	一時停止中に ◀◀ W	
スキップ再生	再生中に SET ▶	次のシーンの先頭から再生
	再生中に ◀ SET	現在のシーンの先頭から再生
	再生中に2回押す ◀◀ SET	前のシーンの先頭から再生

* 操作中、画面が乱れることがあります。また、記録方式がVIDEOのときはスロー再生/スロー逆再生はできません。

ビデオ

ビデオを見る

■ シーンを消す　ディスク RW　記録方式 VR　動画・静止画

不要なシーンを消すことができます。1シーンだけを消す方法のほかに、全シーンをまとめて消す方法もあります。撮影直後にシーンを消す方法については34ページをご覧ください。

ひとつのシーンを消す

1. 消すシーンを選ぶ

参考 ▶▶ 38ページ操作3

2. 押す

3. シーンを消す

❶ (消去)を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

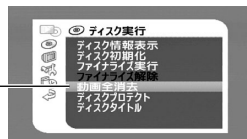
すべてのシーンをまとめて消す

1. 押す

2. 全シーンを消す

❶ (メニュー)を選ぶ→ SET を押す。

❷「ディスク実行」→「動画全消去」または「プレイリスト全消去」* を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

3. 押す

* プレイリストのとき（📖 66）

ご注意

一度消したシーンはもとに戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。

- ディスクプロテクトしているときは（📖68）、シーンを消せません。
- 5秒未満のシーンは消せないことがあります。消す場合はディスク初期化が必要です（📖69）。ただし、初期化を行うとすべてのシーンが消え、もとに戻りません。
- シーン消去中、ディスク動作ランプが点灯しているときは、電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えないでください。

■ 画面の表示を切り換える（データコード）

撮影情報の表示のしかたを切り換えられます。画面に表示される日時やカメラデータ（シャッタースピードなど）を「データコード」といいます。動画再生中はデータコードの表示のしかたを切り換えられます（📖60）。

電源 カメラ/再生 動画・静止画 🎥/📷

DISP.

1. 押す

- 押すたびに表示が切り換わる。

動画撮影中	画面表示あり→画面表示なし*
動画再生中	画面表示あり→データコードのみ→画面表示なし
静止画撮影中	画面表示あり→画面表示なし*
静止画再生中	画面表示あり→記録枚数、日時、画質などの表示→画面表示なし

* メニューで設定した「マーカー」は表示されます。

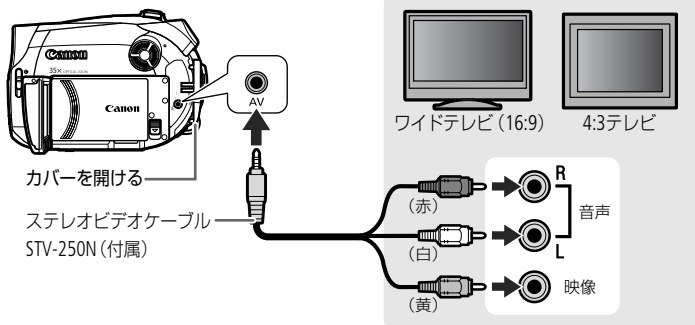
つづく

ビデオを見る

■ 撮った映像をテレビで見る　動画・静止画

本機をテレビにつないで映像を見る方法です。DVDプレーヤーを使って再生するときは74ページをご覧ください。

1. 本機の電源とテレビの電源を切る

2. 付属のケーブルで本機をテレビに接続する

3. 本機の電源とテレビの電源を入れる

- ワイド（16:9）モードのない4:3テレビに接続した場合はメニューで「テレビタイプ」を「4:3」にする（📖 61）。
- テレビ：接続した端子を選ぶ。
- ビデオ機器：入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。

4. 動画を再生する（📖 38）

静止画を見ることもできる（📖 84）。

- 本機にステレオビデオケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- 本機をコンパクトアダプターにつないで使うことをおすすめします。
- 接続するテレビの説明書もあわせてご覧ください。

場面に合わせて撮る

スペシャルシーンモード（SCN）

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影できます。

電源 カメラ　動画・静止画 🎥／📷　モード P

FUNC.

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して P を選ぶ。

❷ 左右に押して（ポートレートのアイコン）を選ぶ → (SET) を押す。

❸ 左右に押していずれかを選ぶ。

FUNC.

3 押す

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

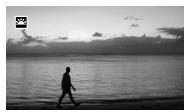
ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

スポーツ

動きの速い被写体を撮る。

夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。

ナイト

暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。

つづく

場面に合わせて撮る

メモ

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレート
  - ・ズームをT側にすると、背景がより効果的にぼけます。
- ナイト
  - ・動きのある被写体は、尾を引いたような残像になることがあります。
  - ・明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
  - ・画面に白い点などが出ることがあります。
  - ・自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください。
- スノー/ビーチ
  - ・曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。
- 打上げ花火
  - ・手ぶれを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
  - ・静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、必ず三脚をお使いください。
- 撮影中は、モードスイッチを切り換えないでください。映像の明るさが一時的に大きく変化することがあります。

動きの速いものを撮る

シャッタースピード

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れの流動感を表現できます。

電 源 カメラ　動画・静止画 🎥／📷　モード P

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して P を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

P（プログラムAE）：シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。

Tv（シャッター優先AE）：シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動で設定される。

3 押す

Tvを選んだとき

❶ 操作案内が出ているときは、SET を押して消す。

❷ ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。

ビデオ

つづく

動きの速いものを撮る

- AEは、Auto Exposure（オート エクスポージャー）（自動露出）、Tvは、Time value（タイム バリュー）（時間量）の略です。
- 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、シャッタースピードを調整してください。
- 撮影中は、モードスイッチを切り換えないでください。映像の明るさが一時的に大きく変化することがあります。
- Tv のとき
  - ・暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
  - ・高速シャッターでは、画像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
  - ・蛍光灯下で動画を撮影するとき、画面のちらつきがとれない場合は、Tv を選んでから1/100秒を選んでください。

ポイント

シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

（動画のとき）	（静止画のとき）	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。 水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	－	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

セルフタイマーを使う

自分を入れて撮影するときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

電源 カメラ　動画・静止画 　モード AUTO, P

1 押す

● 動画を撮影しているときは、撮影一時停止中に操作する。

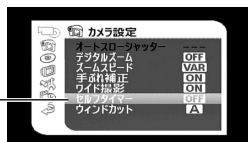
2 セルフタイマーを選ぶ

❶ （メニュー）→「カメラ設定」→「セルフタイマー」を選ぶ→ SET を押す。

❷「入」を選ぶ→ SET を押す。

解除するとき

❷で「切」にする。

3 押す

● 画面に「」が出る。

4 動画の場合 押す

● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

● 浅く押し続けるとピントが合う。
● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる。

メモ

撮影開始までの時間が出ているときは、スタート/ストップボタン（動画のとき）やPHOTOボタン（静止画のとき）を押すと、セルフタイマーは解除できます。また、電源を切ると解除されます。

ビデオ

ピントを合わせる

自動でピントが合いにくい場合は、ピントの調整をします（マニュアルフォーカス）。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。

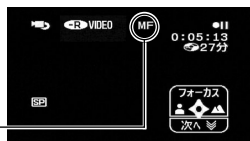
電源 カメラ ｜ 動画・静止画 ｜ モード P

1 SET を押す

● 操作案内が出る。

2 フォーカスを選ぶ

❶ 下に押して「フォーカス」の画面を選ぶ。
❷ 上（フォーカス）に押す。

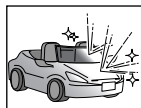
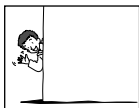
「MF」が出る。

3 左右に押し続ける

● ピントを合わせる。
● 上にもう一度押すと、自動のピント合わせに戻る。

ポイント

花火や山など、遠くにピントを合わせたいときは

操作2の❶の後に、ジョイスティックを上に2秒以上押し続けてください。画面に「∞」が出ます。もう一度、上に押すとピント合わせは自動に戻ります。また、ジョイスティックを左右に押したり、ズームレバーを押したりすると、手動でのピント合わせに戻ります。

自動でピントが合いにくいときはどんなとき?

強い光が反射

明暗の差がない

動きが速い

水滴が付いているガラス越しの撮影

夜景

明るさを調整する

露出

逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。
撮影モードをFUNC.メニューで「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

電源 カメラ　動画・静止画　モード P

1 (SET) を押す

● 操作案内が出る。

2 露出を選ぶ

❶ 下に押して「露出」の画面を選ぶ。

❷ 上（露出）に押す。

● 明るさによって長さが変わり、調整範囲も変わる。「±0」が出る。

● 画面の明るさが固定される。

● ズームを動かすと、明るさが変わることがある。

3 左右に押す

● 上にもう一度押すと、自動での露出調整に戻る。

色合いを調整する

ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など、周りの光によって白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色を調整できます。

電源 カメラ　動画・静止画 　モード P

1 押す

2 目的のホワイトバランスを選ぶ

❶ 上下に押してAWBを選ぶ。
❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

AWB オート	通常はAWB（オート）を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
セット	上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

(セット)を選んだとき

❸ 白紙、白布を写す。

ズームレバーをT側にして、画面いっぱいに写す。

❹ (SET)を押す。

が点滅→点灯に変わったら調整完了。調整内容は電源を切っても憶えている。

3 押す

- (セット)を選んで調整するとき
  - ・明るさが十分な場所で操作してください。
  - ・メニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください(🕮 57)。
  - ・光が変わったときは再調整してください。
  - ・光によっては、ごくまれにが点滅→点灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。
- AWB(オート)にも苦手なものがあります。つぎのような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば、(セット)で調整をしてください。
  - ・照明条件が急に変わる場所での撮影
  - ・クローズアップ撮影
  - ・空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影
  - ・水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影

好みの画質にする

画質効果

肌をなめらかに表現してきれいに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影することができます。

電源 カメラ　動画・静止画 　モード P

1 押す

2 目的の画質効果を選ぶ

❶ 上下に押して OFF を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

OFF	画質効果切	画質効果を使わないとき。
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。
SD	美肌	肌をなめらかに表現して、きれいに見せる。

3 押す

場面の切り換えと特殊効果

デジタルエフェクト

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出の画像にひと工夫加えてみましょう。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

電源 カメラ　動画・静止画 🎥／📷　モード P

フェーダー

映画のようにシーンの始まりと終わりを演出します。

F1 オートフェード

F2 ワイプ

エフェクト

シロクロやセピアにして雰囲気を出したり、アートやモザイクの効果を加えたりできます。

E1 シロクロ

E2 セピア

E3 アート

E4 モザイク

1 押す

2 目的のデジタルエフェクトを選ぶ

❶ 上下に押して を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

つづく

場面の切り換えと特殊効果

4 デジタルエフェクトを設定する

緑色に変わる。

❶ (SET) を押す。操作案内が出る。

❷ 上(▣)に押す。

デジタルエフェクトを解除するとき

上(▣)にもう一度押す。

5 動画撮影時　押す

● 撮影一時停止中(●II)にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中(●)に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になる。

静止画記録時　押す

● 静止画が「シロクロ」または「セピア」で記録される。

一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても憶えています。

買ったときの設定を変える

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

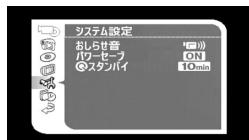
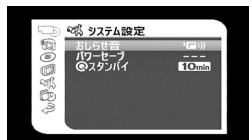
1 押す

2 上下に押して（メニュー）を選び、SET を押す

*動画再生モードの場合、記録方式がVIDEOモードのときは、この操作は必要ありません。

3 上下に押して項目を選び、SET を押す

前の画面に戻るとき

ジョイスティックを左に押す。

4 上下に押して機能を選び、SET を押す

5 上下に押して設定内容を選び、SET を押す

6 押す

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、黒色で表示されます。
- FUNC.ボタンを1秒以上押し続けてもメニューを表示できます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

ビデオ

メニューの紹介

設定できる機能は、電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

カメラ設定

機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（静止画）	参照ページ
オートスローシャッター	ON **入**、OFF 切	●	●	–
デジタルズーム	OFF **切**、105x 105×、1000x 1000×	●		–
ズームスピード	VAR **可変速**、スピード3、スピード2、スピード1	●	●	35
手ぶれ補正	ON **入** (手ぶれ)、OFF 切	●		–
フォーカス優先	AiAF **入：AiAF**、入：中央固定、OFF 切		●	–
ワイド撮影	ON **入**、OFF 切	●		37
セルフタイマー	ON 入 、OFF **切**	●	●	47
ウィンドカット	A **オート**、OFF 切	●		–

オートスローシャッター

暗めの室内など明るさが不足する場所でスローシャッターを使って明るく撮影します。

- 1/30秒（静止画記録時は1/15秒）までのスローシャッターになります。
- モードスイッチがAUTOまたはP（プログラムAE）のときに使用できます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ぶれ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

デジタルズーム

デジタルズームの設定を選びます。

- デジタルズームを設定したときは、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では画像をデジタル処理するため、拡大するほど画像が粗くなります。
- ズーム表示は、35倍から105倍までは水色、105倍から1000倍までは青色になります。
- 撮影モードをFUNC.メニューで「ナイト」に設定しているときは、使用できません。

手ぶれ補正

ズームの望遠側で撮影するときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 撮影モードをSCNの「ナイト」にしたり、Tv（シャッター優先AE）にしてシャッタースピードを遅くしたりすると、手ぶれ補正が効きにくくなります。
- モードスイッチがAUTOのときは、自動的に「入」になります。
- 三脚などを使って撮影するときは、手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

フォーカス優先

PHOTOボタンを浅く押したときに表示されるピントを合わせる枠（AF枠）の選びかたを変えられます。

- 「入：AiAF」：撮影状況によって、9つの枠の中から、自動でピントを合わせる枠を選ぶ。
- 「入：中央固定」：9つの枠の中央にピントを合わせる。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利。モードスイッチがPのとき使用できる。
- 「切」：PHOTOボタンを押してすぐに記録したいとき。
- 「切」を選んだとき、AF枠は出ません。
- モードスイッチがAUTOのときは、操作できません。
- 撮影モードをFUNC.メニューで「打上げ花火」に設定しているときは、自動的に「切」になります。

ウィンドカット

風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。

- モードスイッチをPにして、操作してください。
- 低い音の一部も風の音と一緒に低減されますので、風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、設定を解除することもできます。

つづく

メニューの紹介

静止画実行

機能	設定内容	再生		📖
		動画	静止画	
画像全消去	いいえ、はい		●	87

ディスク実行

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		動画	静止画	動画	静止画	
ディスク情報表示	–	●	●	●	●	–
ディスク初期化	VIDEO、VR、キャンセル	●	●	●	●	69
ファイナライズ実行	いいえ、はい			●	●	72
ファイナライズ解除	いいえ、はい			●	●	75
動画全消去	いいえ、はい			●		40
プレイリスト全消去*	いいえ、はい			●		40
ディスクプロテクト	いいえ、はい			●	●	68
一括フォトムービー作成	いいえ、はい				●	92
ディスクタイトル	–			●		71

*プレイリストのときのみ

ディスク情報表示

ディスクに関する情報を確認できます。

- ディスクタイトル、ディスクの種類（DVD-R / -R DL / -RW）、記録方式（VRモード/VIDEOモード）、ファイナライズ（Ⓕ）やディスクプロテクト（🔑）しているかなどの情報を確認できます。

表示設定

機能	設定内容	カメラ 動画	カメラ 静止画	再生 動画	再生 静止画	📖
液晶明るさ調整	(スライダー)	●	●	●	●	–
液晶対面ミラー	ON 入、OFF 切	●	●			–
オンスクリーン	ON 入、OFF 切	●	●			–
データコード	日付、時刻、**日付&時刻**、カメラデータ			●		–
マーカー	OFF **切**、水平（白）、水平（グレー）、グリッド（白）、グリッド（グレー）	●	●			–
言語	DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、POLSKI（ポーランド語）、ROMÂNĂ（ルーマニア語）、TÜRKÇE（トルコ語）、РУССКИЙ（ロシア語）、УКРАЇНСЬКА（ウクライナ語）、العربية（アラビア語）、فارسی（ペルシャ語）、ภาษาไทย(タイ語)、简体中文（簡体中国語）、繁體中文（繁体中国語）、한국어（ハングル）、**日本語**	●	●	●	●	–

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ジョイスティックを左右に押して調整します。
- ディスクに記録されたり、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。

つづく ▶

メニューの紹介

液晶対面ミラー

液晶画面を相手に見せて撮るときは、ほとんどの液晶画面の表示が消え、映像は左右逆になり、鏡を見ているような映像になります。

オンスクリーン

液晶画面に表示される情報を、本機に接続したテレビ画面に表示します。

データコード

日付や時刻、カメラデータの表示のしかたを切り換えます。

マーカー

画面に水平線や枠が出ます。被写体が水平/垂直になっているかを確認しながら撮影できます。

- 撮影された画像には表示されません。

言語

画面に出る言語を変えます。

- メニューに表示される SET と FUNC. は、変わりません。

システム設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		動画	静止画	動画	静止画	
音量	(音量バー)			●		38
おしらせ音	大、小、OFF 切	●	●	●	●	–
パワーセーブ	ON 入、OFF 切	●	●			–
スタンバイ	10min 10分、20min 20分、30min 30分	●	●			–
画像番号	オートリセット、通し番号		●		●	–
テレビタイプ	4:3 ノーマルテレビ、16:9 ワイドテレビ			●	●	–
FIRMWARE	–				●	–

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ

バッテリーを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「⚠AUTO POWER OFF」が出ます。
- クイックスタートモード中は、メニューの「スタンバイ」で設定した時間で電源が切れます。

スタンバイ

クイックスタートモード中に何も操作しないと、設定した時間で節電のために電源が切れます。

画像番号

ディスクに記録する静止画の画像番号の付けかたを選びます。

- ディスクに記録した静止画は、自動的に0101～9900までの画像番号が付き、1つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101～998までの番号が付きます。

  「オートリセット」　画像番号は、101-0101から始まる。すでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

  「通し番号」　画像番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。画像番号の方が大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は、「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

テレビタイプ

接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

「4：3　ノーマルテレビ」*　ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
「16：9　ワイドテレビ」　ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

* テレビタイプの設定を4：3にして、16：9で撮影した映像を再生すると、液晶画面に表示される映像が小さくなります。

FIRMWARE

ビデオカメラの現在のバージョンを確認できます。

- 通常は灰色で表示されます。

つづく

日時設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		動画	静止画	動画	静止画	
エリア/サマータイム	–	●	●	●	●	30
日付/時刻	–	●	●	●	●	30
日時スタイル	**Y.M.D（2007.1.1 AM12:00）**、M.D,Y（JAN. 1, 2007 12:00AM）、D.M.Y（1. JAN. 2007 12:00AM）	●	●	●	●	–

日時スタイル

日時の表示のしかたを変えます。

FUNC. メニューの紹介

設定できる機能は、電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。□欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（静止画）	□
撮影モード	P（**プログラムAE**）、Tv（シャッター優先AE）	●	●	43
	ポートレート、スポーツ、ナイト、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライト、打上げ花火	●	●	
ホワイトバランス	AWB **オート**、太陽光、電球、セット	●	●	50
画質効果	**画質効果切**、くっきりカラー、すっきりカラー、美肌	●	●	52
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、F1 オートフェード、F2 ワイプ、E1 シロクロ、E2 セピア、E3 アート、E4 モザイク	●		53
	D.エフェクト切、E1 シロクロ、E2 セピア		●	
録画モード	XP 高画質モード、SP **標準モード**、LP 長時間モード	●		36
静止画サイズ／画質	L **1024×768**、S 640×480		●	82
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		●	

ビデオ

つづく

機能	設定内容	再生		📖
		動画	静止画	
プレイリスト追加 *1	全シーン、1シーン、キャンセル	●		65
移動 *2	—	●		66
分割	—	●		67
消去	—	●		40
フォトムービー作成	—		●	91
スライドショー	キャンセル、スタート		●	85

*1：オリジナルのときのみ
*2：プレイリストのときのみ

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューが終了します。

プレイリストを作成する

プレイリストとは、撮影したシーンを再生（プレイ）したい順に並べた一覧（リスト）のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムができます。プレイリストのシーンを移動したり、消したり、分割したりしても、撮影したオリジナルデータは変わりません。オリジナルデータのすべてのシーンまたは1つのシーンをプレイリストに追加できます。

ディスク RW　記録方式 VR　電源 再生　動画・静止画

ビデオ

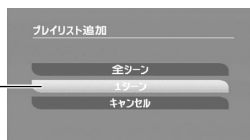
1 1つのシーンを追加するとき

追加するシーンを選ぶ

2 押す

3 （プレイリスト追加）を選び、SETを押す

4 設定する内容を選ぶ

❶「全シーン」または「1シーン」を選ぶ→SETを押す。

❷「はい」を選ぶ→SETを押す。

● プレイリストボタンを押すと、追加したシーンが確認できる。

つづく

プレイリストを作成する

■ プレイリストのシーンを移動する

お好みの順に、プレイリスト内のシーンを並べ換えられます。

1 押す

2 移動するシーンを選ぶ

3 押す

4 （移動）を選び、SETを押す

5 移動する位置を選ぶ

❶ バーを移動する位置に動かす
→SETを押す。

❷「はい」を選ぶ→SETを押す。

■ プレイリストのシーンを消す

プレイリストボタンを押した後、40ページの操作をしてください。

シーンを分割する

撮影したシーンを分割することで、不要なシーンを消したりできます。オリジナルとプレイリストで、それぞれ独立してシーンを分割できます。
フォトムービーと1秒以下のシーンは分割できません。

ディスク RW　記録方式 VR　電 源 再 生　動画・静止画

1 プレイリスト内のシーンを分割するとき
押す

2 分割するシーンを選ぶ

FUNC.
3 押す

4 を選び、SETを押す

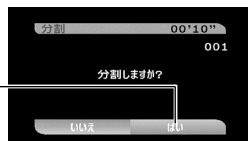
● 再生が始まる。

5 分割する

❶ を選ぶ→分割する場所でSETを押す。

● 早送り、早戻し、一時停止、スロー再生機能などを使って、好きな場所に合わせる（39）。
⏮/⏭：再生中のシーンの先頭または末尾へ。
◀II / II▶：逆コマ送り/コマ送り。

❷「はい」を選ぶ→SETを押す。
● 分割したもとのシーンの次に挿入される。

ビデオ

ディスクの画像を守る

ディスクプロテクト

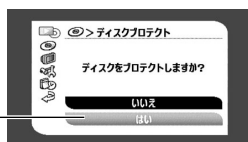
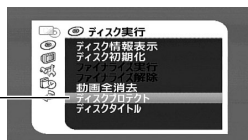
大切な画像を誤って編集したり、消したりしないように、ディスクの中のすべての画像を保護(プロテクト)できます。ただし、ディスクをプロテクトしても、初期化するとすべての画像は消えます。

ディスク RW　記録方式 VR　電源 再生　動画・静止画

1 押す

2 ディスクプロテクトを選ぶ

❶ (メニュー)→「ディスク実行」を選ぶ→ SET を押す。

❷「ディスクプロテクト」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

解除するとき

❷の後、「ディスクプロテクト」→「はい」を選ぶ→ SET を押す。

3 押す

ディスクを初期化する

ディスク初期化

新しいディスクを使うときや、「認識できない記録方式です」というお知らせ表示が出たときに行います。また、記録方式を変えるときや、ディスクに記録した画像などの情報すべてを消すときにも行います。

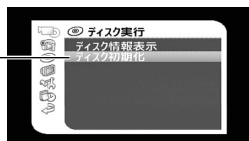
ディスク RW　記録方式 VIDEO／VR　電源 カメラ／再生　動画・静止画

FUNC.

1 押す

2 ディスク初期化を選ぶ

❶ （メニュー）→「ディスク実行」を選ぶ→ SET を押す。

❷「ディスク初期化」を選ぶ→ SET を押す。

3 記録方式を選ぶ

❶「VIDEO」または「VR」を選ぶ→ SETを押す。

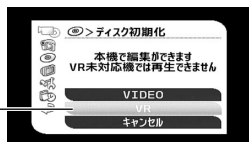
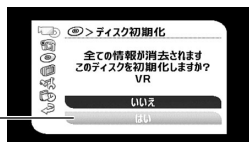
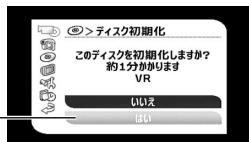
● 記録方式については、「ディスクを選ぼう」（📖 4）をご覧ください。

❷「はい」を選ぶ→ SETを押す。

❸「はい」を選ぶ→ SETを押す。

4 ディスク実行画面に戻ったとき

押す

つづく

ディスクを初期化する

ご注意

- 初期化を行うと、ディスクプロテクトを設定していても、すべての情報が消え、元に戻せません。
- DVD-RWを使用するときは、本機で初期化してからお使いください。

ディスクに名前をつける

ディスクタイトル

ディスクに名前をつけられます。ディスクタイトルはほとんどのDVDプレーヤーで再生するときに、テレビ画面に出ます。また、メニューで「ディスク情報表示」を選んだときにも確認できます。記録方式がVIDEOモードのときは、ファイナライズ（📖 72）する前に行ってください。

ディスク R／R DL／RW　記録方式 VIDEO／VR　電源 再生　動画・静止画

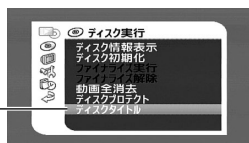
1 押す

VRモードのとき

ジョイスティックで（メニュー）を選ぶ→ SET を押す。

2 ディスクタイトルを選ぶ

❶「ディスク実行」を選ぶ
　→ SET を押す。

❷「ディスクタイトル」を選ぶ
　→ SET を押す。

3 文字を入力する

❶ 入力する文字を選ぶ
　→ SET を押す。

❷「終了」を選ぶ→ SET を押す。

● 英数字、記号で20文字入力できる。

一文字消すとき

消す文字のあとにカーソルを移動させたあと「前削除」を選び、SETを押す。

❸「はい」を選ぶ→ SETを押す。

4 押す

ディスクタイトルを変更するとき

操作1～4を繰り返す。

ビデオ

ほかのビデオ機器で見るための処理をする

ファイナライズ

ディスクの画像を、DVDプレーヤーなどの他の機器で再生できるようにする処理（ファイナライズ）を行います。静止画はフォトムービーにしてからファイナライズすると、DVDプレーヤーなどで再生できます（🕮 91）。

ディスク R／R DL／RW　記録方式 VIDEO／VR　電源 再生　動画・静止画 🎥／📷

1 コンパクトパワーアダプターにつなぐ

バッテリーではファイナライズできないのでご注意ください。

2 押す

VRモードのとき

ジョイスティックで（メニュー）を選ぶ→SETを押す。

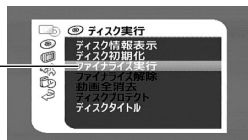
3 ファイナライズ実行を選ぶ

❶「ディスク実行」→「ファイナライズ実行」を選ぶ。

❷ SETを押す。

❸「はい」を選ぶ→SETを押す。

- ファイナライズに必要な時間が出る。
- ファイナライズ後は、画面にⒻが出る。

4 押す

- **必ず常温で行ってください。高温下で行い、中断した場合は電源を取りはずし、本機を冷ましてから操作し直してください。**
- **本機を机などの安定したところに置いて行ってください。ファイナライズを実行中に、机に置く、AVケーブルを抜くなどの衝撃を与えると、データが破損する恐れがあります。**
- ファイナライズ中は、コンパクトパワーアダプターを抜かないでください。正しくファイナライズされず、ディスクのデータが破損します。
- ファイナライズを行うと、ディスクの種類や記録モードによって、追加の記録やディスク初期化に制限が出ます。
- 本機で記録したディスク以外はファイナライズしないでください。

- ファイナライズ後にできる操作は次のとおりです。

	追加の記録	編集	ディスク初期化	ファイナライズ解除
DVD-R（VIDEOモード）	−	−	−	−
DVD-R DL（VIDEOモード）	−	−	−	−
DVD-RW（VIDEOモード）	○*	−	○	○
DVD-RW（VRモード）	○	○	○	−

*ファイナライズ解除が必要。

- ファイナライズにかかる時間は、ディスクの空き容量や記録の状態によって異なります。

ビデオ

DVDプレーヤーやパソコンで再生する

ファイナライズという他の機器で再生するための処理（📖 72）を行ってから、DVDプレーヤーやパソコンなどで再生します。ファイナライズしないとDVDプレーヤーやパソコンなどで再生することができません。
再生できるディスクについては、DVDプレーヤーやパソコンなどの説明書をご覧ください。

ディスク R／R DL／RW　記録方式 VIDEO／VR

1

DVDプレーヤー

テレビとDVDプレーヤーの電源を入れる

パソコン

起動する

2

DVDプレーヤー

ファイナライズしたディスクを入れる

パソコン

ファイナライズしたディスクをDVDドライブに入れる

3

再生する

- パソコンで静止画を見るときは、DVD再生ソフトウェアは使用しない。ソフトウェアが起動したら終了する。

メモ

- VRモードで撮影した場合、DVD-RWのVRモードに対応した機器でのみ再生できます。
- お使いの機器によっては、ディスクを再生できない場合があります。
- フォトムービーは、解像度が下がるため、きれいに再生されないことがあります。
- パソコンで再生する場合、DVD再生ソフトウェアがインストールされていることが必要です。また、DVD-R DLを再生する場合、DL（2層）に対応したDVDドライブが必要です。

処理をした後に追加記録する

ファイナライズ解除

ファイナライズを解除すると、もう一度追加で記録できます。

ディスク RW　記録方式 VIDEO　電 源 再 生　動画・静止画

1 コンパクトパワーアダプターにつなぐ

FUNC.

2 押す

3 ファイナライズ解除を選ぶ

❶「ディスク実行」→「ファイナライズ解除」を選ぶ。

ディスク実行
ディスク情報表示
ディスク初期化
ファイナライズ実行
ファイナライズ解除
動画全消去
ディスクプロテクト
ディスクタイトル

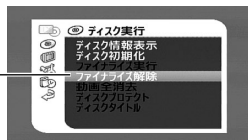
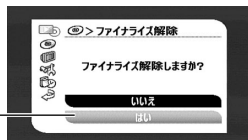
❷ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

> ファイナライズ解除
ファイナライズ解除しますか?
いいえ
はい

4 ディスク実行画面に戻ったとき

押す

つづく

処理をした後に追加記録する

ご注意

- **必ず常温で行ってください。高温下で行い、中断した場合は電源を取りはずし、本機を冷ましてから操作し直してください。**
- **本機を机などの安定したところに置いて行ってください。ファイナライズ解除を実行中に、机に置く、AVケーブルを抜くなどの衝撃を与えると、データが破損する恐れがあります。**
- ファイナライズ解除中は、コンパクトパワーアダプターを抜かないでください。正しくファイナライズ解除されず、ディスクのデータが破損します。
- 本機でファイナライズしたディスク以外は、ファイナライズ解除できません。

ポイント

どのディスクがファイナライズ解除できるの？

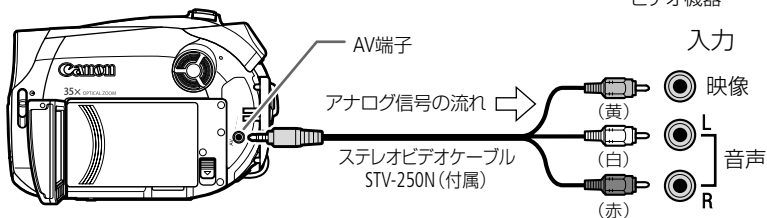
DVD-RW（VIDEOモード）のみファイナライズ解除できます。DVD-RW（VRモード）はファイナライズ解除しなくてもそのまま記録できます。DVD-R/DVD-R DLはファイナライズ解除できません。

ほかのビデオ機器へ録画する

本機で撮った動画やフォトムービーをビデオ機器にダビングできます。

ディスク R／R DL／RW　記録方式 VIDEO／VR　電源 再生　動画・静止画

■ 接続する

映像/音声端子付きビデオ機器へ録画します。

■ 操作する

1 本機 「再生」にする

2 本機 再生するディスクを入れる

3 録画機 録画一時停止状態にする

ほかのビデオ機器へ録画する

4 本機 再生を始めるシーンを選ぶ

5 本機 押す

- 再生が始まる。
- 本機に出る日時やカメラデータを入れて録画できる。DISP.（ディスプレイ）ボタンを押すたびに、表示が切り替わる（📖 41）。

6 録画機 録画を開始する場面で、録画を始める

7 録画機 録画を終える

8 本機 押す

- 再生が終わる。

コンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。

1	とにかく撮る（基本編）	80

すべて「おまかせ」でカンタンに撮りたいときにご覧ください。

2	とにかく見る（基本編）	84

撮った写真を本機で見たり、消したりしたいときに読んでください。

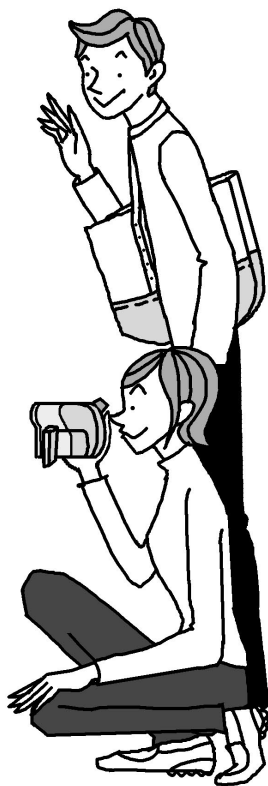
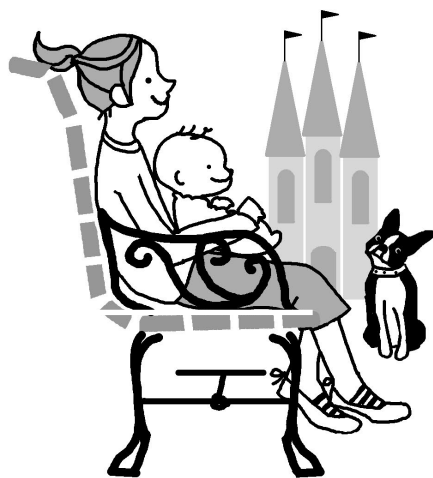
3	こだわって撮る（応用編）	88

図で写真の明るさをチェックしたいとき。

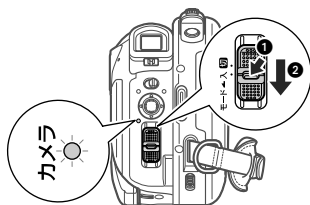
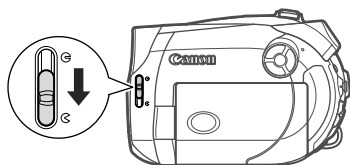
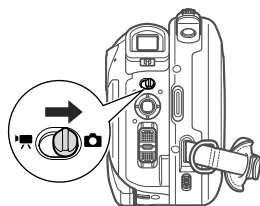
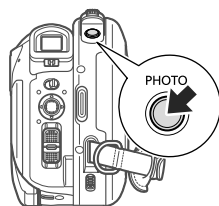
4	編集する	91

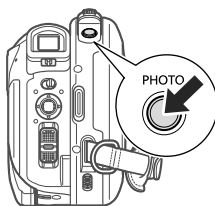
写真をつなげてムービーにしたいとき。

写真

Taking Photos

写真を撮る

ディスクに静止画を記録します。

1 「カメラ」にする

2 レンズカバーを開く

3 📷にする

4 浅く押し続ける

● ピントを調整し、終わると●が緑色になって緑色の枠が出る。

5 深く押す ▶ 記録開始！

● ディスク動作ランプが点滅。

画面右上に▶ ◎ が出たり、ディスク動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

・本機に振動や衝撃を与えない。
・ディスクカバーを開けない。
・電源を切らない。電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない。
・バッテリーなどの電源を取りはずさない。

自動でピントが合いにくい被写体の場合は、◉が黄色くなります。手動でピントを調整してください（📖 48）。

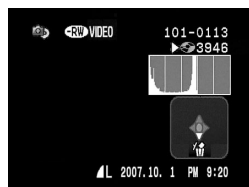
つづく▶

写真を撮る

■ いま撮った写真を消す

ディスク RW　記録方式 VIDEO／VR　動画・静止画

記録直後に静止画を消すことができます。

1. 記録直後
下に押す

2. 右に押して「消去」を選ぶ→SETを押す

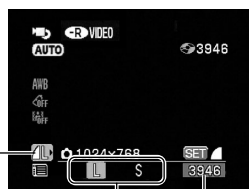
■ 画質や静止画サイズを選ぶ　動画・静止画

画質や静止画サイズ、撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。静止画サイズは、高画質で撮るときは大きく、枚数を多く撮るときは小さく設定しましょう。

1. 押す

2. 静止画サイズを選ぶ

❶ 上下に押してLを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ→SETを押す。

記録できる枚数の目安

3. 画質を選ぶ

いすれかを選ぶ。

4. 押す

ポイント

片面ディスクに記録できる枚数の目安

静止画サイズ	L 1024×768			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
DVD-R/-RW（VIDEOモード）	2690	3910	7830	6625	9570	9999
DVD-R DL（VIDEOモード）	4890	7115	9999	9999	9999	9999
DVD-RW（VRモード）	2735	3980	7965	6740	9735	17525*

：スーパーファイン、：ファイン、：ノーマル

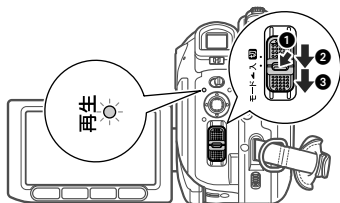
* 画面には「9999」と出ますが、実際は表の画像数の目安まで記録できます。

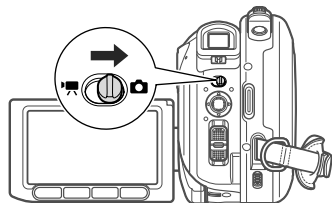
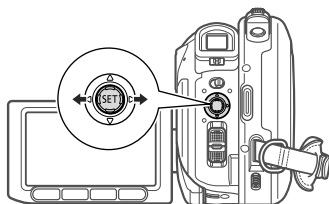
写真

見る

写真を見る

撮った静止画を見てみましょう。

1 「再生」にする

● 下に押すたびに「カメラ」と「再生」が切り換わる。

2 📷 にする

3 静止画を選ぶ

1枚ずつ見ながら探す

ジョイスティックを左右に押し続けると、静止画を見ながら探せます。

10枚/100枚ごとに探す

静止画を10枚または100枚ごとに飛ばして表示できます。

1. ジョイスティックの SET を押す。操作案内が出る。
2. 上（ ）に押して、左右に押すと10枚ごとに一気にジャンプする。
   - 100枚ごとにジャンプしたいときは、ジョイスティックを上下に押す。ジョイスティックの SET を押すと終了する。

ご注意

● 画面右上に▶ が出ていたり、ディスク動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
・ディスクカバーを開けない　・電源を切らない
・電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない
・バッテリーなどの電源を取りはずさない

- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - ・本機以外の製品で記録したとき
  - ・パソコンで作成や加工をしたとき
  - ・パソコンでファイル名を変更したとき

■ 順番に再生する（スライドショー） 動画・静止画

1. 押す

2. スライドショーを選ぶ

❶ 上下に押して（スライドショー）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 左右に押して「スタート」を選ぶ→ SET を押す。

スライドショーを止める

FUNC.ボタンを押す。

■ インデックス画面から選ぶ 動画・静止画

1. W側に押す

2. 静止画を選ぶ

- 緑色の枠を、再生したい静止画に合わせる。

インデックス画面をページごと送る

❶ ズームレバーをW側にもう一度押す。
❷ ジョイスティックを左右に押す。
❸ ズームレバーをT側に押すと解除される。

写真を見る

3. T側に押す

- 選んだ1枚の静止画が画面に出る。

■ 写真を見ながら拡大する（再生ズーム）

動画・静止画 [静止画]

静止画を再生中に、T側に押すと最大5倍まで拡大できます。拡大した静止画を縮小したいときはW側に押します。拡大できない静止画のときは、[拡大不可アイコン]が表示されます。

静止画を上下左右に動かす

拡大した後、静止画を上下左右に移動できます。

上下左右に動かすと静止画が動く。

画面の拡大をやめる

拡大表示ワクが消えるまでW側に押し続けます。

この枠が消えるまで押し続ける。

■ 写真を消す（画像消去）

ディスク RW　記録方式 VR　動画・静止画 [静止画]

静止画を1枚消したり、すべての静止画を一度に消したりできます。

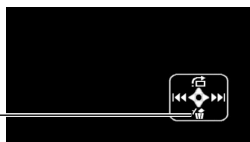
ひとつの写真を消す

1. (SET)を押す

- 操作案内が出る。

2. 画像消去を選ぶ

❶ 下（ ）に押す。

❷ 右に押して「消去」を選ぶ
→ SET を押す。

すべての写真をまとめて消す

1. 押す

2. 画像全消去を選ぶ

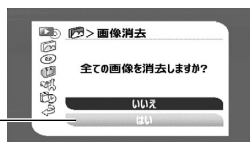
❶ 上下に押して （メニュー）→「静止画実行」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「画像全消去」を選ぶ
→ SET を押す。

❸ 上下に押して「はい」を選ぶ→ SET を押す。

▼

FUNC.

3. 押す

一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。

ディスクプロテクトしている場合は、静止画を消すことができません。

写真

写真の明るさを図で確認する

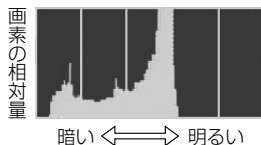
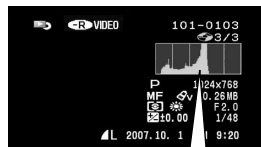
ヒストグラム

撮影した静止画の明るさを確認できます。撮影するときの明るさの目安にします。この明るさの図を「ヒストグラム」といいます。画素の相対量が図の右側に多いと明るく、左側に多いと暗いことを表しています。

ディスク R／R DL／RW　記録方式 VIDEO／VR　電 源 再 生　動画・静止画 [静止画]

DISP.

1 押す

参考 ▶▶ 画面の表示を切り換える
（📖 41）

ヒストグラムは静止画記録直後にも表示されます。

知ってて便利な使いかた

静止画記録時にズームやセルフタイマーを使ったり、明るさを調整したりできます。使いかたについては、それぞれの参照ページをご覧ください。

1 撮影チャンスを逃さない クイックスタート 📖 33

電源を切る代わりにクイックスタートモードにしておくと、約1秒で撮影可能状態に戻ります。バッテリーの消耗をおさえると同時に撮影チャンスにもすばやく対応します。

2 拡大して撮る ズーム 📖 35

ズームレバーを使って35倍まで拡大（望遠）して撮影できます（光学ズーム）。静止画撮影のときは、デジタルズームは使えません。

3 場面に合わせて撮る スペシャルシーンモード(SCN) 📖 43

動きの速いスポーツシーン、照り返しの強いスキー場、打ち上げ花火や夕焼けなど、撮影がむずかしい被写体を簡単に撮ることができます。

4 動きの速いものを撮る シャッタースピード 📖 45

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れの流動感を表現できます。

5 セルフタイマーを使う 📖 47

PHOTOボタンを押してから約10秒後に撮影されます。記念撮影のときなど、自分自身が被写体に入るときに便利です。

6 ピントを合わせる 📖 48

夜景や動きが速い被写体を撮るときなどは自動でピントが合いにくくなります。そのようなときは、ピントを調整します。

つづく ▶

7 明るさを調整する 露出 □ 49

逆光で撮影すると被写体が黒く写ったり、強い光が当たる場所を撮影すると全体が白く飛んでしまったりすることがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。

8 色合いを調整する ホワイトバランス □ 50

太陽光の状態によって白いものもオレンジ色を帯びたり、青っぽくなったりします。撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色調整することができます。

9 好みの画質にする 画質効果 □ 52

肌をなめらかに表現してきれいに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影することができます。

10 場面の切り換えと特殊効果 デジタルエフェクト □ 53

「セピア」や「シロクロ」に色を変えるエフェクトを使って、思い出の静止画にひと工夫加えることができます。

11 買ったときの設定を変える □ 55

さまざまな機能がメニューから設定できます。設定方法は55ページに、各機能については56ページ以降に説明があります。

写真をつなげてムービーにする

フォトムービー

静止画を、一つの動画ファイル（MPEG圧縮）に変換します。動画をDVDビデオ機器などで再生するときに、静止画をスライドショー（3秒ごと）として再生できます。

ディスク	R／R DL／RW	記録方式	VIDEO／VR	電源	再生	動画·静止画	📷

■ 一枚の静止画をフォトムービーにする

1 押す

2 フォトムービーを選ぶ

❶ 上下に押して（フォトムービー作成）を選ぶ→SETを押す。

❷ 左右に押して「実行」を選ぶ→SETを押す。

● 動画の再生画面のオリジナルにシーンとして追加される。

3 押す

写真

つづく

写真をつなげてムービーにする

■ すべての静止画をフォトムービーにする

1 押す

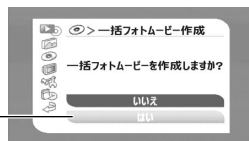
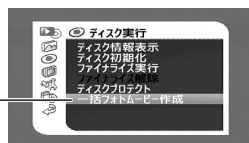
2 一括フォトムービーを選ぶ

❶ (メニュー)→「ディスク実行」を選ぶ→ SETを押す。

❷「一括フォトムービー作成」を選ぶ→ SETを押す。

❸「はい」を選ぶ→ SETを押す。

● 動画の再生画面のオリジナルにシーンとして追加される。

3 押す

● フォトムービー作成中に、ディスクの空き容量がなくなった場合には中断されます。

● フォトムービーを作成しても、もとの静止画は残ります。

● メニューで「テレビタイプ」を「ノーマルテレビ」に設定してから、フォトムービーにすることをおすすめします。

ふろく

故障かな？ 94

「故障かな？」と思ったときや、いつも通りに操作できないときにご覧ください。

メッセージが出たら？ 100

画面にメッセージが出たときに読んでください。

取扱い上のご注意 103

取り扱うときに注意していただきたいことについて説明しています。

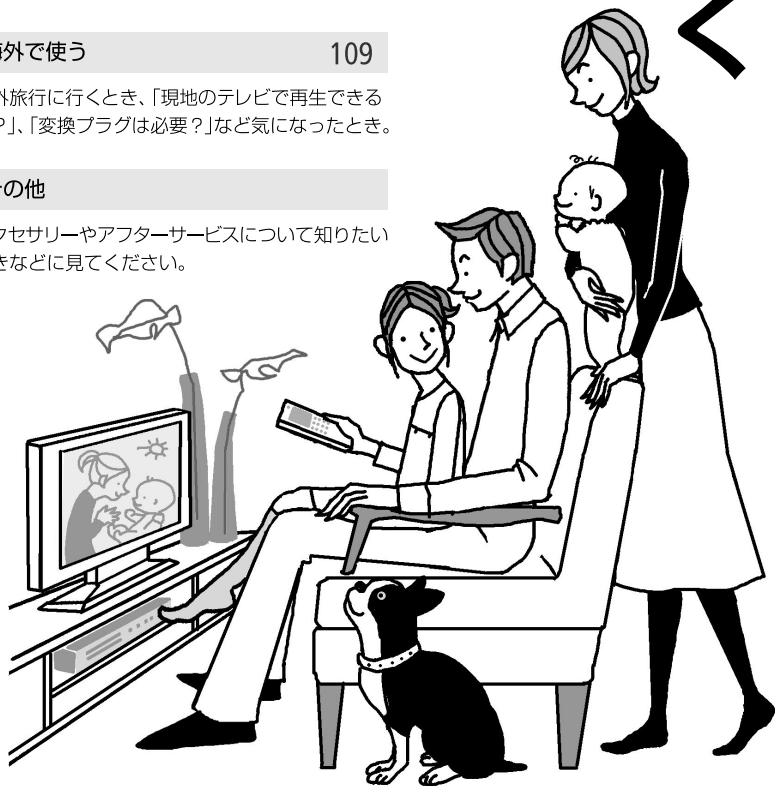
日常のお手入れ 108

本機の汚れが気になったときのお手入れ方法について。

海外で使う 109

海外旅行に行くとき、「現地のテレビで再生できるの？」、「変換プラグは必要？」など気になったとき。

その他

アクセサリーやアフターサービスについて知りたいときなどに見てください。

故障かな？

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。特にほかの機器につないでいるときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店にご相談ください。

	こんなときは	どうするの？	📖
電源	電源が入らない 途中で電源が切れる ディスクカバーが開かない 画面がついたり消えたりを繰り返す	• バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 • バッテリーを正しく装着し直す。	22
電源	充電ランプが早い連続した点滅になる（0.5秒に1回の点滅）	コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止する。	–
電源	バッテリーが充電できない 充電ランプがゆっくりと点滅する（2秒に1回）	• 0℃～40℃の温度で充電する。 • バッテリーを使用直後、バッテリーの温度が高くなり、充電温度範囲外になっている。バッテリーをしばらく放置して、温度が40℃以下になってから充電を開始する。 • バッテリーが故障している。別のバッテリーを使う。	23
撮影・再生	操作ボタンを押しても動かない	• 電源を入れる。 • ディスクを入れる。	25
撮影・再生	画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない	電源を取りはずし、しばらくしてから取り付けて操作する。それでも解決しない場合は、電源を取りはずし、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。すべての設定が解除される。	–
撮影・再生	画面で「⌀」が点滅する	ディスクを入れる。	25
撮影・再生	画面で「（バッテリー表示）」が点滅する	バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	22
撮影・再生	画面にノイズが出る	プラズマテレビや携帯電話などの近くで本機を使っているときは、テレビや携帯電話などから離す。	–

	こんなときは	どうするの？	📖
撮影・再生	テレビの放送画面にノイズが出る	テレビの近くで使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	–
撮影・再生	ディスクが入っていない状態でディスクカバーを閉めると、モーター音が聞こえる	ディスクが入っているか確認しているためで、故障ではない。	–
撮影・再生	ディスクが取り出せない	• 電源を切ってから、コンパクトパワーアダプターやバッテリーを取り付け直す。 • 本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	22 24 –
撮影・再生	ディスク認識が終了しない	• ディスクにゴミや汚れがあるので、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭きとる。改善されない場合は、新しいディスクに交換する。 • ディスクを正しく装着し直す。 • ディスクを確認する。	106 25 4
撮影・再生	本機が振動する	ディスクの状態によっては本機が振動することがある。故障ではない。	–
撮影・再生	本機から小さな音が聞こえる 一定の間隔で本機から動作音がする	ディスクを定期的に動作させている音で、故障ではない。	–
撮影・再生	長時間使うと熱くなる 「 」が赤く点灯する	故障ではない。電源を切ってから、涼しい場所でしばらく放置する。	–
動画撮影	画面に映像が映らない	• 電源スイッチを「カメラ」にし、動画/静止画切り換えスイッチを「 」にする。 • レンズカバーを開く。	31
動画撮影	「エリア/日時を設定してください」が出る	• 世界時計のエリアと日時を設定する。 • 内蔵のリチウム電池を充電し、日付/時刻を設定し直す。	30 107

故障かな？

	こんなときは	どうするの？	📖
動画撮影	スタート/ストップボタンを押しても録画しない	• 電源スイッチを「カメラ」にし、動画/静止画切り換えスイッチを「[動画]」にする。 • おすすめのディスクを入れる。 • ディスクに空き容量がない（画面で「[ディスク] END」が点灯）。新しいディスクを入れるか、DVD-RW（VRモード）の場合は不要な画像を消す。 • 本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。 • ディスクプロテクトを解除する。 • DVD-RW（VIDEOモード）のときは、ファイナライズを解除する。	31 5 25 40 86 — 68 75
	撮影を中断してもディスク動作ランプが点灯している	撮影したシーンをディスクに書き込んでいる。故障ではない。	—
	スタート/ストップボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる	スタート/ストップボタンを押してから、実際に録画が始まったり終わったりするまでに時間差が多少かかることがある。故障ではない。	—
	撮影を始めても、すぐ止まってしまう	• ディスクにゴミや汚れがある。市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭きとる。改善されない場合は、新しいディスクに交換する。 • 本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	106 —
	ピントが合わない	• ピントの自動調整が苦手な被写体です。手動でピントを調整する。 • ファインダーの視度調整レバーで、画像がはっきり見えるように調整する。 • レンズが汚れている。最初にブロアでレンズ表面のゴミ、ホコリを拭き除き、レンズを傷つけないように乾いた柔らかい布で軽く拭いて汚れを取り除く。ティッシュペーパーを使わない。	48 32 108
	音がひずんだり、実際より小さく記録される	大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音がひずんだり、実際より小さく記録されることがある。故障ではない。	—

	こんなときは	どうするの？	📖
動画撮影	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体を撮影すると、縦に帯が出る	CCDのスミア現象で、故障ではない。	–
	ファインダーの画像がはっきりしない	視度調整レバーで調整する。	32
動画再生	再生ボタンを押しても再生しない	• ディスクを入れる。 • 電源スイッチを「再生」にし、動画/静止画切り換えスイッチを「 」にする。 • 他機で記録や編集したディスクは本機で再生できない場合がある。 • 片面ディスクのときは、ディスクのラベル面を外側にして入れる。 • 本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	25 38 – 25 –
	映像にノイズが出たり、音が途切れたりして、正しく再生されない ディスクを正しく認識しない	• ディスクにゴミや汚れ、傷がある。市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭きとる。 • 他機で記録や編集されたディスクは、本機で再生できない場合がある。	106 –
	プレイリストに追加できない	• ディスクに空き容量がない（画面で「 END」が点灯）。DVD-RW（VRモード）の場合は、不要な画像を消す。 • プレイリストに999シーンある場合は追加できない。 • ディスクプロテクトを解除する。	40 86 – –
	分割できない	• 他機で撮影やプロテクトなどをしたディスクでは、編集したり、消したりできない。 • 999シーンある場合は分割できない。 • 1秒以下のシーンは分割できない。	– – –

故障かな？

	こんなときは	どうするの？	📖
動画再生	ディスクタイトルを入力できない	• DVD-R/-R DLではファイナライズ後にディスクタイトルを入力できない。 • DVD-RW（VIDEOモード）のときは、ファイナライズを解除する。 • 他機でディスクタイトルが作成されている場合は、本機では入力できない場合がある。 • ディスクプロテクトを解除する。	– 75 – 68
	フォトムービーを作成できない	ディスクに空き容量がない（画面で「 END」が点灯）。DVD-RW（VRモード）の場合は不要な画像を消す。	40 86
	編集やシーンを消去できない	• ディスクプロテクトを解除する。 • 他機でプロテクトされたディスクやDVD-R/-R DL/-RW（VIDEOモード）では編集したり消したりできない。	68 –
	ファイナライズできない	• DVD-R/-R DL/-RW（VIDEOモード）で静止画のみを記録している場合、ファイナライズできません。動画を1回以上撮影すると、ファイナライズできる。 • 本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	– –
	映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない	• 液晶画面を開く。 • スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 • 本機からステレオビデオケーブルを取りはずす。	29 38 –

こんなときは		どうするの？	📖
他機	シーンとシーンの間で一瞬止まる	再生する機器によっては、各シーンの間で一瞬止まることがある。	–
	ディスクは回っているが、テレビに映像が出ない	• テレビ側で接続した端子に切り換える。 • 対応していないディスクを再生またはダビング録画しようとしている。操作を中止する。	42 4
	他機でディスクが認識されない 再生できない、画像が乱れる	• 市販の眼鏡クリーナー（布製）などでディスクの汚れを拭き取る。 • ディスクをファイナライズする。 • VRモードで記録した場合、再生できない機器がある。他機の説明書で互換を確認する。	106 72 –
	他機でディスクに追加記録や編集ができない	本機で記録したディスクには、他機での追加記録や編集ができない場合がある。	–

ふろく

メッセージが出たら?

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

	メッセージ	どんな意味?	📖
お知らせ表示(約4秒間表示)	エリア/日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していない。世界時計のエリアと日時を設定する。	30
	バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	22
	スタンバイに入れません	ディスクカバーを開閉してディスクを認識しているときや、バッテリー残量が少なくなっているときはクイックスタートモードに入れません。	–
	認識できない記録方式です	• 他機で初期化されたディスクは、本機で認識できない場合がある。 • テレビ方式が異なるディスクです。本機に対応したディスクを使う。	–
	高温のため記録できません 高温のためディスクは取り出せません	本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	–
	記録できません	• ディスクに異常があるため、記録できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 • ディスクの記録面に傷や汚れがある場合がある。	– 107 –
	シーン数がいっぱいです	記録可能な画像数を超えた。新しいディスクに交換するか、DVD-RW(VRモード)の場合は不要な画像を消す。	25 40 86
	再生できません	• DVD-R/-R DL/-RW以外のディスクや、汚れがついているディスクは再生できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	– 107
	分割できません	• 分割してできた5秒未満のシーンは分割できない場合がある。 • ディスクに異常がある	–

	メッセージ	どんな意味？	📖
お知らせ表示（約4秒間表示）	推奨ディスクをお使いください	お使いのDLディスクには記録できない。	5
	ファイナライズ済みのディスクです 記録できません	• ファイナライズ済みのDVD-R/-R DLには記録できない。 • 他機でファイナライズしたDVD-RW（VIDEOモード）は、本機で追加の記録やファイナライズ解除ができない。	–
	ファイナライズを解除してください	ファイナライズ済みのDVD-RW（VIDEOモード）には追加記録できない。ファイナライズを解除する。	75
	ディスクがプロテクトされています	プロテクトされているディスクには記録や編集できない。プロテクトを解除する。	68
	ディスクが認識できません ディスクを確認してください	• ディスクを認識できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 • 本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから使用する。 • ディスクを取り出してから、入れ直す。	– 107 – 25
	アクセスエラーです ディスクへのアクセスに失敗しました ディスクを確認してください	• ディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生した。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 • ディスクを取り出してから、入れ直す。	– 107 25
	ディスクカバーがあいています	ディスクカバーを閉じる。	25
	ディスクがありません	• ディスクを入れる。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	25 107
	ディスク認識中です	ディスクを読み込んでいる。	–
	振動を与えないでください	記録しているときは振動を与えない。	–

メッセージが出たら?

	メッセージ	どんな意味?	📖
お知らせ表示(約4秒間表示)	データを修復できませんでした	• 壊れたデータを修復できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	– 107
	ディスクがいっぱいです	ディスクに空き容量がない(画面で「END」が点灯)。新しいディスクを入れるか、DVD-RWの(VRモード)場合は不要な画像を消す。	25 40 86
	処理中です 電源をはずさないでください	ディスクに管理情報を書き込んでいるので、電源をはずさない。	–
	画像がありません	再生する画像がない。	–
	静止画モードです	静止画記録時にスタート/ストップボタンを押した。	–
	ファイル名が作成できません	フォルダー番号や画像番号が最大になった。「オートリセット」して、ディスクの初期化、画像全消去、またはディスクの交換を行ってください。	61

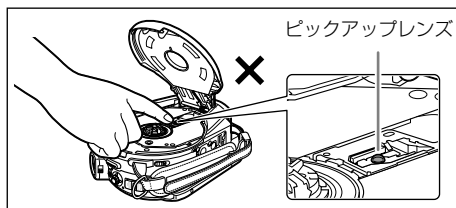
取り扱い上のご注意

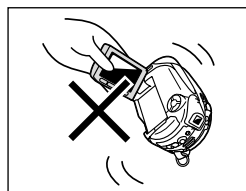
ここでは本機やバッテリー、ディスクを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

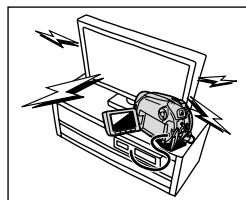
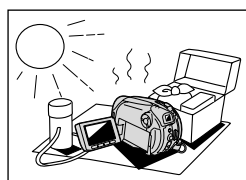
ビデオカメラについて

● **ディスク動作ランプが点灯している間は、振動や衝撃を与えない**

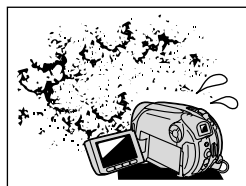
正常に記録されず、ディスクのデータが破損することがあります。

● **本機のピックアップレンズに触れない**

● **液晶画面やディスクカバーをつかんで、本機を持ち上げない**

● **液晶画面は、正しい位置に戻してから閉じる**

● **テレビの上、プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所では使わない**

映像や音声が乱れることがあります。

● **太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない**

取り扱い上のご注意

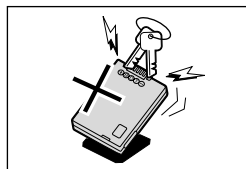
● ホコリや砂、水、泥、塩分の多い場所で使用・保管しない

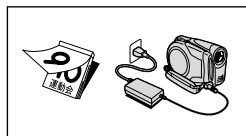
本機は防水・防塵構造になっていません。ホコリなどが本機やディスクカバー内部に入ると、故障の原因となります。ディスクカバーは使用後に必ず閉じてください。

バッテリーについて

● 端子はいつもきれいにしておく

バッテリー、別売の充電器、本機の端子に物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

● 持ち運びや保存の際は、ショートを防ぐため個別にポリ袋に入れる

金属で端子をショートさせると、バッテリーの破損の原因となります。

● 充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーも少しずつ放電します。

● 常温での使用時間が極端に短いときは

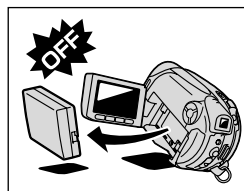
寿命と考えられます。新しいバッテリーをお求めください。

● 使用時間を長くするコツ

・ こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。

・ スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなります。
ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

● 長い間保管するとき

- バッテリーが消耗するのを防ぐため、取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に一回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

○ この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
○ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
○ 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
○ リサイクルに関するお問い合わせ先
- 製品、リチウム電池をご購入いただいた販売店
- 有限責任中間法人　JBRC
  ホームページ　http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
- キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン
  キヤノンサポートページ　canon.jp/support

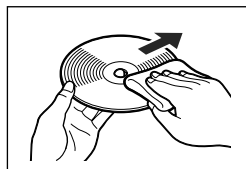
ディスクについて

ディスクは大変精密な構造になっており、保管/取り扱い方法によっては、ディスクを認識できなかったり、再生できないなどの不具合がおきることがあります。ディスクの取り扱いには、以下の項目を守って充分に注意してください。

● **撮影が終わったら、必ず一度ディスクをビデオカメラから取り出す**

● **ディスクを取り出さないまま、ビデオカメラに入れて保管しない**

● **ホコリや汚れがつかないようにする**

わずかな汚れでも、正常に記録や再生できないことがあります。記録を行う前には必ず十分な確認を行ってください。汚れた場合は、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭きとってください。ベンジンなどは、ディスクを痛めることがあるので、使わないでください。

● **ぬらしたり、曲げたり、傷つけたり、強い衝撃を与えない**

● **表面にラベルなどの粘着性のあるものを貼らない**

回転が不安定になり、故障の原因となります。

● **保護のため、ケースに入れて保管する**

● **文字などは印刷面に、ボールペンなどの先の硬いものは避け油性フェルトペンで記入する**

● **極端な温度差にさらさない**

温度差のある場所へ急に移動すると、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。

● **直射日光の当たる場所や、高温、多湿の場所に置かない**

● **必ずファイナライズしてからDVDプレーヤーなどの機器に入れる**

記録データが破損する恐れがあります。

内蔵の充電式リチウム電池について

本機は充電式内蔵リチウム電池によって、日付などの設定を保持します。内蔵リチウム電池は、本機を使っている間充電されるため、約3ヶ月使わないと完全に放電します。

充電するとき（所要時間：24時間）

① 電源スイッチを「切」にする

② 本機をコンパクトパワーアダプターにつなぐ

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。結露した状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。次のようなときに結露が発生しやすくなります。

・ 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
・ 寒い部屋を急に暖房したとき
・ 湿度の高い部屋の中
・ 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

どんな対処をする？

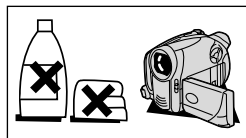
周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

結露を防ぐには

・極端な温度差にさらさない。
・温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にディスクを取り出し、本機をビニール袋で密閉します。本機が移動先の温度になじんでから袋から取り出します。

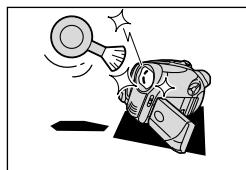
日常のお手入れ

● 本機が汚れたとき

乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどは、製品を傷めることがあるので使わないでください。

● ピックアップレンズが汚れたとき

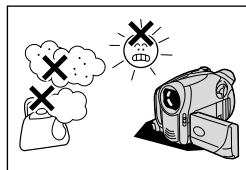
スプレー缶タイプではなくエアータイプのブロアーで、汚れを吹き飛ばしてください。故障の原因となりますので、直接触れてのクリーニングは絶対にしないでください。

● レンズやファインダーが汚れたとき

- ブロアーでゴミやホコリを取り除き、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで軽く拭いてください。ティッシュペーパーを使わないでください。
- レンズの表面が汚れていると、自動ピント合わせが動作しないことがあります。

● 液晶画面が汚れたとき

- 市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

● 長期間使わないとき

ホコリが少なく、湿度の低い、30°C以下の場所に保管してください。

海外で使う

本製品は、海外でもお使いになれます。本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ヶ所の標準時間を表示できます（📖 30）。サマータイムのときは、エリアの右に☀が付くものを選んでください。

■ テレビで再生する

本機で録画したディスクを以下の国や地域などでご覧になる場合、映像/音声入力端子のついた日本で採用しているNTSC方式のテレビで再生できます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 韓国
- ギニアビサウ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK放送文化研究所発行　「世界の放送2005」による）

■ 電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグが必要になります。
コンパクトパワーアダプターを海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換プラグについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

ふろく

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米

アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ

アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア

インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア

オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米

アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東

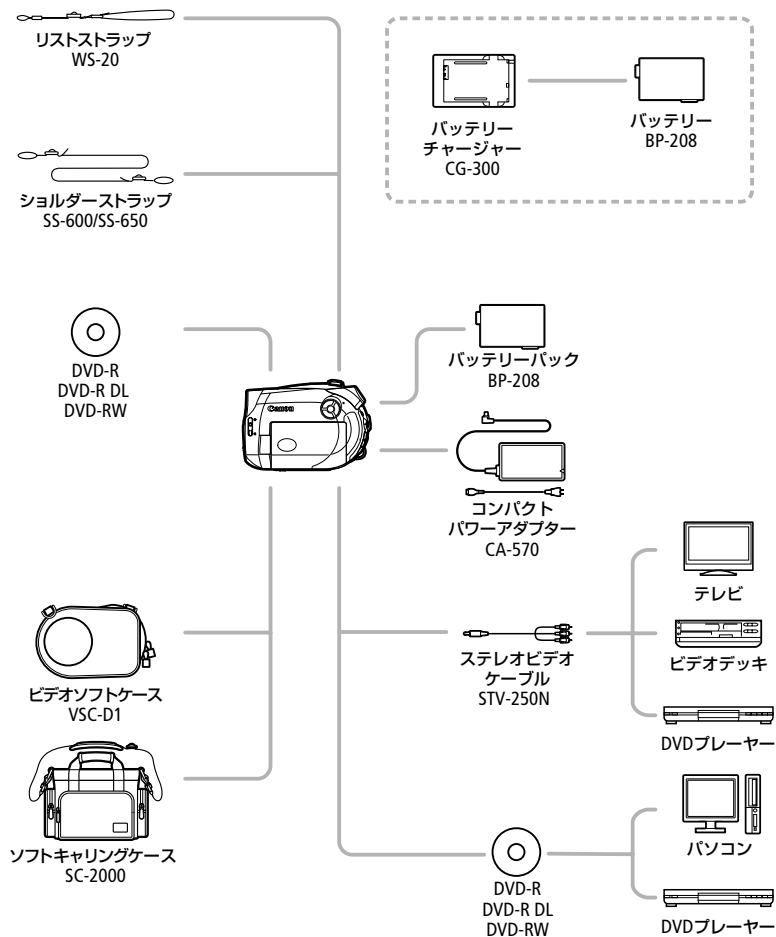
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ

アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

アクセサリー紹介

リストストラップ
WS-20
バッテリー
チャージャー
CG-300
バッテリー
BP-208
ショルダーストラップ
SS-600/SS-650
DVD-R
DVD-R DL
DVD-RW
バッテリーパック
BP-208
コンパクト
パワーアダプター
CA-570
テレビ
ビデオデッキ
ステレオビデオ
ケーブル
STV-250N
DVDプレーヤー
ビデオソフトケース
VSC-D1
ソフトキャリングケース
SC-2000
パソコン
DVD-R
DVD-R DL
DVD-RW
DVDプレーヤー

アクセサリー紹介

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害(録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等)については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 見本となる記録メディアやプリントを添付するなど故障内容を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

- ビデオカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後8年です。従って、期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては弊社またはお買い上げ店にお問い合わせください。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

■ iVIS DC200 システム

ディスク記録	動画： DVD-VIDEO（VIDEOモード）：8cmDVD-R、DVD-R DL/DVD-RW DVD-VR（VRモード）：8cmDVD-RW 映像圧縮方法：MPEG2 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch 静止画： Exif Ver 2.2準拠、圧縮方法JPEG
信号方式	NTSC方式準拠
使用可能ディスク	DVD R/RWのついた8cmDVD-R、DVD-R DLまたはDVD-RW
録画/再生時間	XP：約20分、SP：約30分、LP：約60分（1.4G片面ディスク） XP：約36分、SP：約54分、LP：約108分（2.6G片面2層ディスク）
撮像素子	1/6型CCD、総画素数68万画素 有効画素　ワイド撮影時：手ぶれ補正「入」約36万画素 手ぶれ補正「切」約45万画素 4:3撮影時：約34万画素 静止画：約45万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約12.3万画素）
ファインダー	0.27型　TFTワイドカラー液晶（約12.3万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=2.6－91mm　F=2.0－5.0　電動35倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 動画：ワイド撮影時：手ぶれ補正「入」45.8 - 1603mm 手ぶれ補正「切」41.0 - 1435mm 4:3撮影時　49.8 - 1743mm 静止画：43.6 - 1526mm
レンズ構成	8群10枚、非球面レンズ1枚使用（両面非球面）
焦点調整	TTL自動焦点、マニュアル調整可
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、太陽光、電球付）
最低被写体照度	1.3ルクス（ナイト（SCN）、シャッタースピード1/8秒時） 5ルクス（オートモード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	電子式
静止画記録サイズ	1024×768、640×480
画像圧縮方法	JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）

■ iVIS DC200 出力端子（レベル/インピーダンス）

映像/音声出力端子	3.5mm4極ミニジャック 映像　映像信号：1Vp-p/75Ω 音声　-10dBv（47kΩ負荷時/3ｋΩ以下）

■ iVIS DC200 電源その他

電源電圧	DC7.4V（バッテリーパック）、DC8.4V（DCIN）
消費電力	ファインダー使用時：約2.9W、（録画中、AF合焦時、SPモード時） 液晶画面使用時：約3.0W、（録画中、AF合焦時、明るさ標準、SPモード時）
動作温度	0℃～＋40℃
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約54×90×128mm（グリップベルトを含まず）
撮影時総質量	約450g（バッテリーパックBP-208、DVD-R含む）
本体質量	約400g

■ コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力/消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V)～39VA（240V）
使用温度	0℃～＋40℃
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約52×29×90mm
本体質量	約135g

■ バッテリーパック　BP-208

使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃～＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	850mAh
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約39×8×63mm
質量	約40g

さくいん

ア行

アフターサービス 113
インデックス画面 85
打上げ花火（SCN） 43
ウィンドカット 57
液晶画面 29
エフェクト 53
エリア 30
おしらせ音 61
お知らせタイマー 16
お手入れ 108
オートスローシャッター 56
オリジナル 65
音量調整 38

カ行

海外で使う 109
画質（静止画） 82
画質効果 52
画像消去 86
画像番号のリセット 61
カメラデータ 41
画面の見かた 15
画面のメッセージ 100
記録する（静止画） 80
クイックスタート 33
グリップベルト 28
結露 107
広角 35
故障かな？ 94

サ行

再生ズーム 86
再生する：動画 38
静止画 84
撮影時間 15
撮影する（動画） 31
撮影モード 43
サマータイム 30
三脚 28
シーン 38
シーンの消去 34
シャッタースピード 45
充電 22
ジョイスティック 14
初期化 69
ショルダーストラップ 28
シリアル番号（機番） 13
スノー（SCN） 43
スピーカー 14
スポーツ（SCN） 43
スポットライト（SCN） 43
スライドショー 85
ズーム 35
静止画 80
静止画サイズ 82
世界時計 30
セルフタイマー 47

タ行

ディスク 4
ディスクタイトル 71
ディスクプロテクト 68
デジタルエフェクト 53
デジタルズーム 57
データコード 41
手ぶれ補正 57
テレビタイプ 61
テレビで見る 42
動画 31

ナ行

ナイト（SCN） 43
ノーマルテレビ（4：3） 61

ハ行

バッテリーの残量表示 16
パワーセーブ 61
ビーチ（SCN） 43
日付・時刻 30
ファイナライズ 72
ファインダーの調整 32
フェーダー 53
フォトムービー 91
フォーカス（ピント合わせ） 48
フォーカス優先 57
プレイリスト 65
望遠 35
ポートレート（SCN） 43
ホワイトバランス 50

マ行

マーカー 60
メッセージ 100
メニュー 56
モードスイッチ 33

ヤ行

夕焼け（SCN） 43

ラ行

リチウム電池 107
録画モード 36
露出 49

ワ行

ワイド撮影（16：9） 37
ワイドテレビ（16：9） 61

そのほか

AF枠 57
AUTO（撮影モード） 33
AV（映像/音声）端子 77
DISP.（ディスプレイ）ボタン .... 29、41
DVD-R/-R DL/-RW 4
FUNC.メニュー 63
ID-1方式 37
P（P） 45
RESETボタン 94
Tv（P） 45
VIDEOモード 4
VRモード 4

製品の使いかたがわからないときは

キヤノンマーケティングジャパン お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00〜20:00／土日祝日* 10:00〜17:00

*1月1日〜1月3日を除く

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

本書は100%再生紙を使用しています。

PUB. DIJ-256A
0000ANi0.0